

# けんこう南知多プラン（第3期）（案）

令和7年 月

南知多町

パブリックコメント後、町長あいさつ 掲載

# 目次

<b>I</b>	<b>けんこう南知多プラン（第3期）策定の概要</b>	<b>1</b>
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の基本理念と方針	2
3	計画策定の背景	4
<b>II</b>	<b>南知多町の現況と健康状態</b>	<b>5</b>
1	統計からみた住民の健康の状況	5
(1)	人口統計について	5
(2)	医療の状況	10
(3)	健診、その他の受診状況	11
2	アンケート調査からみる現状	15
(1)	アンケートの概要	15
(2)	こころ・休養について	16
(3)	食生活について	21
(4)	歯について	25
(5)	運動について	27
(6)	たばこについて	30
(7)	アルコールについて	33
3	けんこう南知多プラン（第2期）最終評価	35
4	各分野の課題	40
<b>III</b>	<b>健康づくりの推進</b>	<b>42</b>
	健康づくりの推進の考え方	42
	重点分野1 こころ・休養	43
	重点分野2 食生活	45
	重点分野3 歯	47
	重点分野4 運動	49
	重点分野5 たばこ・アルコール	51
<b>IV</b>	<b>健康づくりに関する行政の取り組み状況</b>	<b>53</b>
1	こころ・休養	53
2	食生活	55
3	歯	56
4	運動	57
5	たばこ・アルコール	58

V その他.....	60
策定経過.....	60

# I けんこう南知多プラン（第3期）策定の概要

## 1 計画策定の趣旨

南知多町では、「このまちで夢と元気と生きがいづくり」を基本理念に、健康増進法第8条の規定にもとづく市町村健康増進計画として、平成16年度策定の「けんこう南知多プラン（計画期間平成17年度から平成26年度）」に始まり、平成27年から令和6年度を計画期間とする「けんこう南知多プラン（第2期）」（以下「第2期計画」という。）に基づき、住民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という個人の意識の高揚と併せ、家庭や地域、健康に関わる様々な関係機関、行政が連携した取り組みを進めてきました。

社会情勢等、様々な変化に対応するため、第2期計画の策定から5年が経過した時点で、中間評価を行い、推進内容、指標や目標数値の一部見直しを行いました。

令和5年度には「けんこう南知多プラン（第2期）アンケート調査」を実施し、第2期計画の推進、取り組みを進めた結果、どのような効果や変化がみられたのかを評価・検証し、今後の健康づくりの推進に反映させることを目的として、最終評価を行いました。

以上を受け、令和7年度からの「けんこう南知多プラン（第3期）」（以下「第3期計画」という。）を第7次南知多町総合計画の関連する個別計画として策定します。「第3期計画」は国民健康づくり運動として令和5年5月に新たに国が示した「健康日本21（第三次）」やそれに基づく「第3期健康日本21 あいち計画」、健康増進に関連するその他の計画、指針などに関連を持たせ、新たな視点を加えています。

---

### 持続可能な開発目標（SDGs : Sustainable Development Goals）への取組

SDGs（エス・ディー・ジーズ）は2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」において掲げられた2016（平成28）年から2030（令和12）年までの国際目標です。

南知多町第7次総合計画ではまちづくりの基本施策に対し、該当するSDGsの個別目標を明示しています。総合計画の個別計画である本計画においても各事業を推進するにあたり、SDGsを意識し、地域や関係団体などと連携しつつ取り組むことが必要です。



## 2 計画の基本理念と方針

### (1) 基本理念

#### 「このまちで夢と元気と生きがいづくり」

##### 5つの願い

- ① 魅力あるまちとして、四季おりおりを感じる豊かな自然を残していきたい
- ② ストレスをためずにおだかやかな心で暮らしたい
- ③ いつまでも元気で丈夫なからだで暮らしたい
- ④ 地域で支えあって安心して暮らしたい
- ⑤ 夢と生きがいをもって暮らしたい

### (2) 計画推進の考え方

#### ① 住民一人ひとりの主体的、継続的な取組

健康づくりの主役は住民一人ひとりであり、様々な関係者・関係団体と連携し、住民自らが主体的に健康づくりに取り組みます。

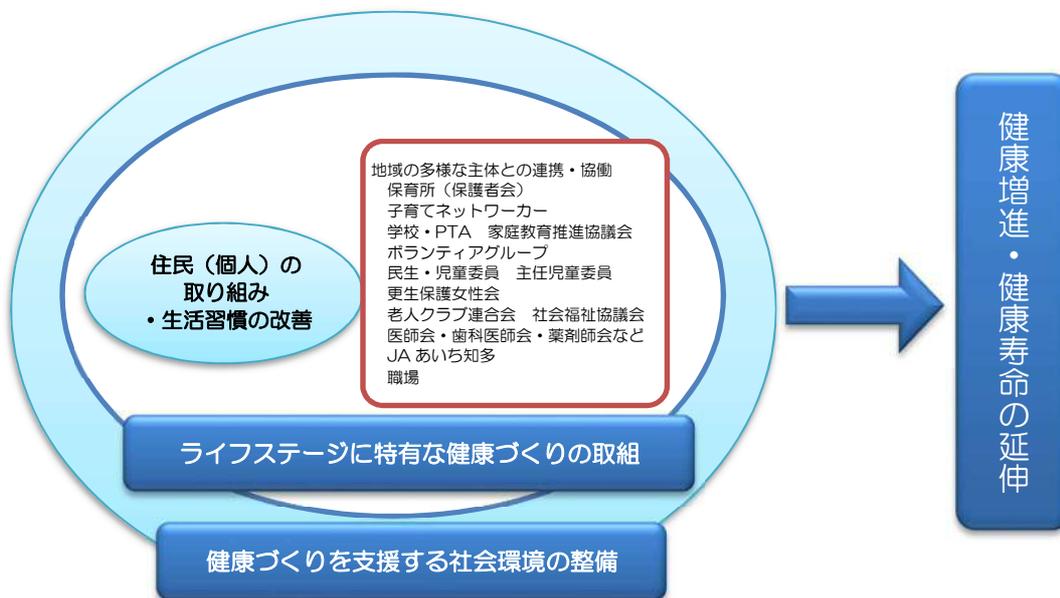
#### ② 多様な主体の連携と協働による環境づくり

個人の健康は、家庭、学校、職場、地域などの環境の影響を受けることから、個人が主体的に行う健康づくりを地域全体で総合的に支援する環境の整備が求められます。

#### ③ ライフステージに特有の健康づくり

人生の各期において特有な健康づくりについて、取り組みを進める必要があります。

#### 健康づくりの概念図

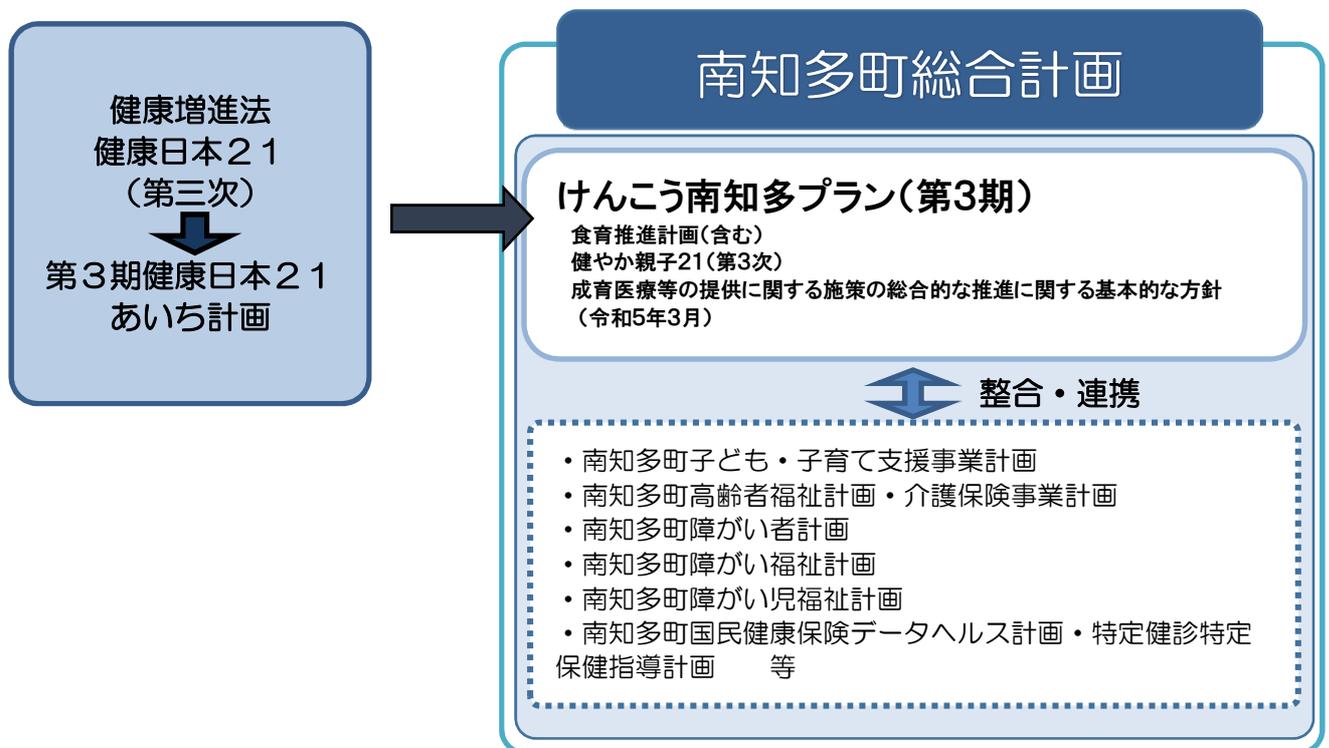


### 3 計画策定の背景

#### (1) 計画の位置づけ

本計画は、健康増進法に定める健康増進計画として位置づけられ、国や県で策定された「健康日本 21（第三次）」「第 3 期健康日本 21 あいち計画」、また、本町で策定する各種計画との整合性を図りながら推進します。

また、本町の食育の総合的な推進を図る「食育推進計画」を包含するとともに、「健やか親子 21（第 3 次）」「成育医療等の提供に関する施策の総合的な推進に関する基本的な方針（令和 5 年 3 月）」「愛知県歯科口腔保健基本計画（第 2 期）」などに基づく各種指標と関連、整合性をとるとともに、南知多町総合計画の関連分野の個別計画として位置づけます。



#### (2) 計画期間

本計画にかかわる国や県の計画を踏まえ、計画期間は令和 7 年度から令和 18 年度の 12 年間とし、中間年度に見直しを行います。



## II 南知多町の現況と健康状態

### 1 統計からみた住民の健康の状況

#### (1) 人口統計について

##### ① 年齢別人口

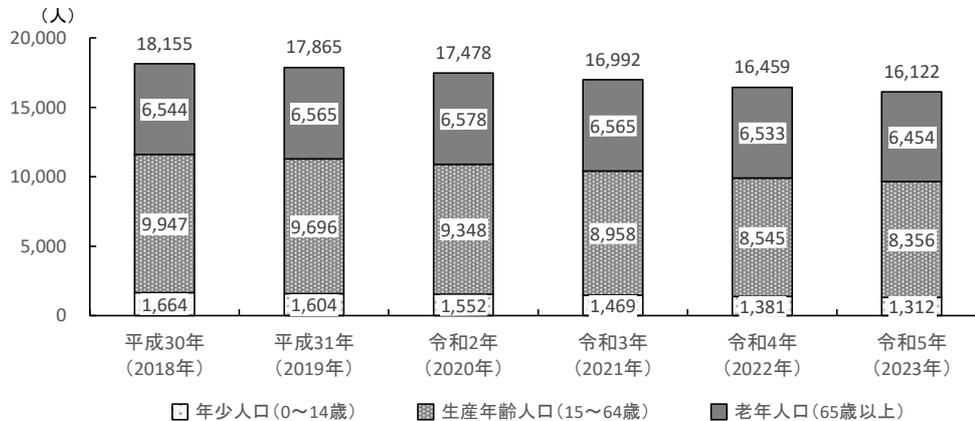
南知多町の人口は、令和5年で16,122人となっており、平成30年からの6年間で約2,000人、減少しています。年齢別人口割合の推移をみると、0～14歳の年少人口割合と15～64歳の生産年齢人口割合は減少しています。一方で、65歳以上の老年人口割合は増加しており、令和5年では6,454人と、総人口の40.0%を占め、少子高齢化が進行していることがわかります。

表1 年齢別人口の推移

種別		平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
年少人口 (0～14歳)	人数(人)	1,664	1,604	1,552	1,469	1,381	1,312
	割合(%)	9.2	9.0	8.9	8.6	8.4	8.1
生産年齢人口 (15～64歳)	人数(人)	9,947	9,696	9,348	8,958	8,545	8,356
	割合(%)	54.8	54.3	53.5	52.7	51.9	51.8
老年人口 (65歳以上)	人数(人)	6,544	6,565	6,578	6,565	6,533	6,454
	割合(%)	36.0	36.7	37.6	38.6	39.7	40.0
合計	人数(人)	18,155	17,865	17,478	16,992	16,459	16,122
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

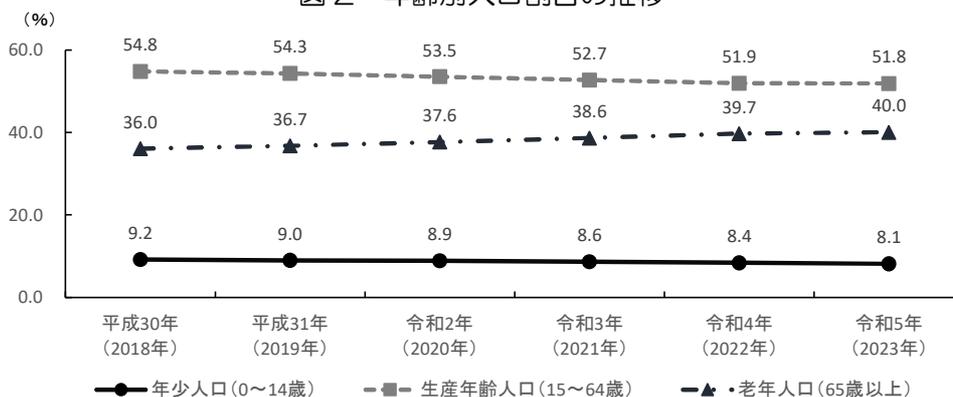
資料：住民基本台帳（各年3月末）

図1 年齢別人口の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末）

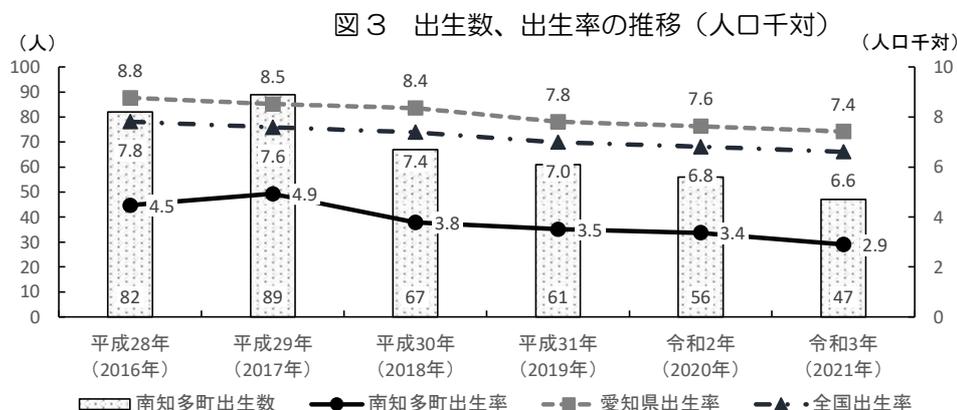
図2 年齢別人口割合の推移



資料：住民基本台帳（各年3月末）

## ② 出生数、出生率

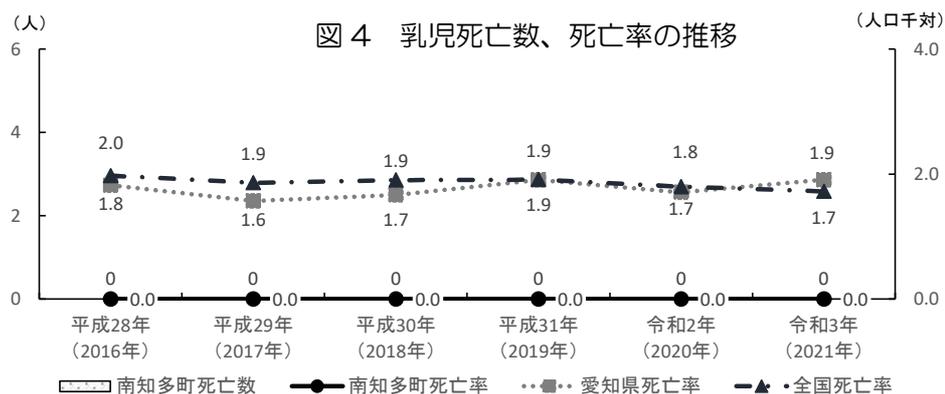
出生数は、令和3年に47人となっています。出生数の推移をみると、平成29年をピークに減少しています。出生率は、全国、愛知県を下回った数値で推移しています。



資料：愛知県衛生年報

## ③ 乳児死亡数、死亡率

乳幼児死亡数は、令和3年までの6年間で0人です。

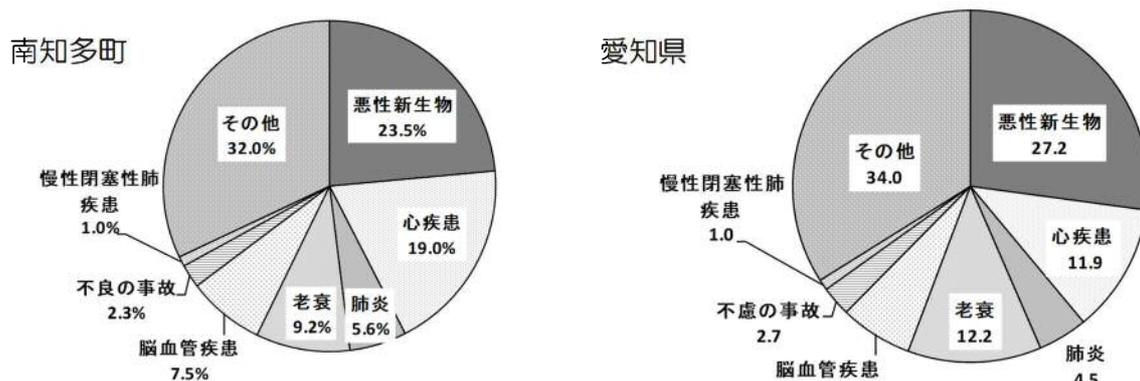


資料：愛知県衛生年報

## ④ 死因別死亡の割合

南知多町の死因別死亡の割合は、愛知県と同様に、第1位が悪性新生物となっていますが、第2位は心疾患、第3位は老衰となっています。愛知県は第2位が老衰、第3位が心疾患となっており、南知多町は「心疾患」の死亡割合が高くなっています。

図5 死因別死亡の割合（令和3年）



資料：愛知県衛生年報

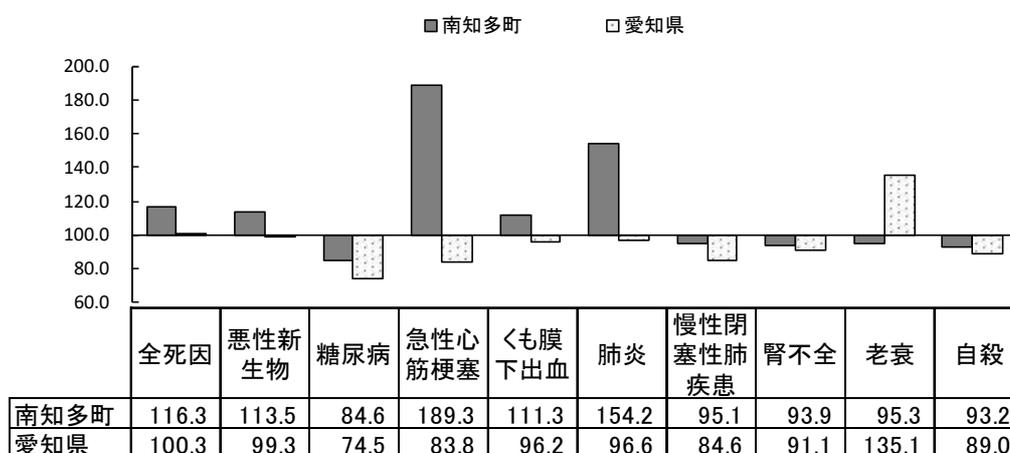
## ⑤ 死因別 SMR

平成 29 年～令和 3 年の主要死因別の標準化死亡比を性別で見ると、男性は、「急性心筋梗塞」「肺炎」が高くなっています。女性では、「くも膜下出血」「急性心筋梗塞」「肺炎」が高くなっています。

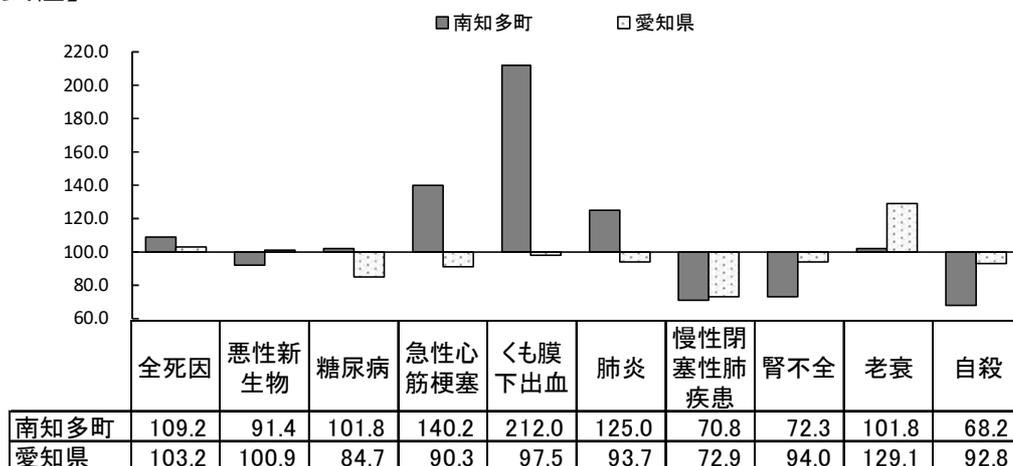
愛知県と比較すると、男性では、「老衰」が愛知県を下回っています。女性では、「老衰」「自殺」「腎不全」「悪性新生物」「慢性閉塞性肺疾患」が愛知県を下回っています。しかし、男性では「急性心筋梗塞」が県の値を大幅に上回り（105.5 ポイント）、女性では「くも膜下出血」が県の値を大幅に上回っており（114.6 ポイント）、課題となっています。

図 6 男女別死因別 SMR（標準化死亡比）（平成 29 年～令和 3 年）

### 【男性】



### 【女性】



資料：愛知県

※SMR（標準化死亡比）：標準化死亡比は、基準死亡率（人口10万対の死亡数）を対象地域に当てはめた場合に、計算により求められる期待される死亡数と実際に観察された死亡数とを比較するものです。国の平均を100とし、標準化死亡比が100以上の場合は国の平均より死亡率が多いと判断され、100以下の場合は死亡率が低いと判断されます。

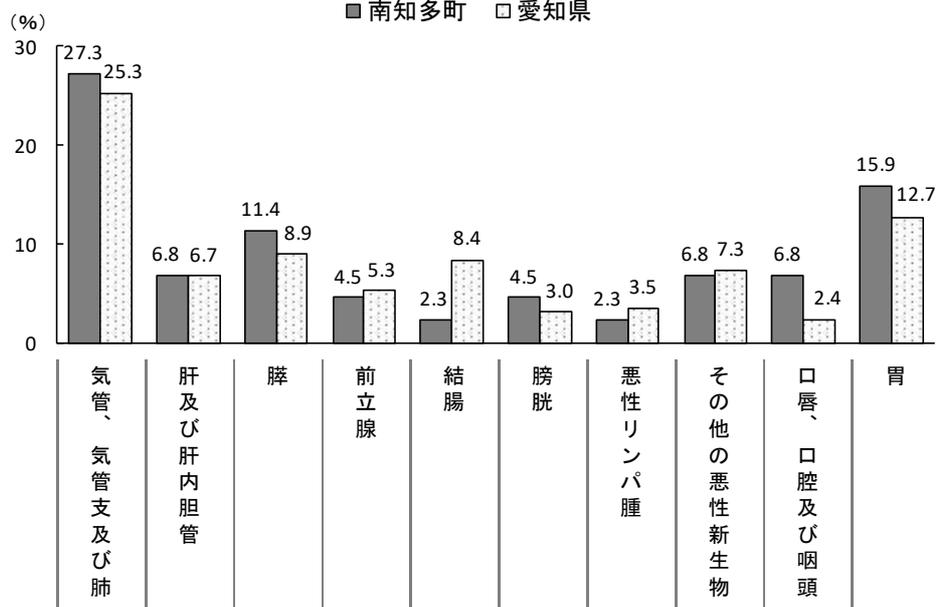
## ⑥ 部位別悪性新生物（がん）死亡割合

部位別悪性新生物（がん）の死亡割合は、男性は、「気管、気管支及び肺」が27.3%と最も高くなっています。次いで、「胃」が15.9%、「膵」が11.4%となっています。女性では、「胃」が17.9%と最も高くなっています。次いで、「気管、気管支及び肺」「膵」「乳房」「その他の悪性新生物」いずれも10.7%となっています。

愛知県と比較すると、男性、女性ともに「胃」が高くなっています。

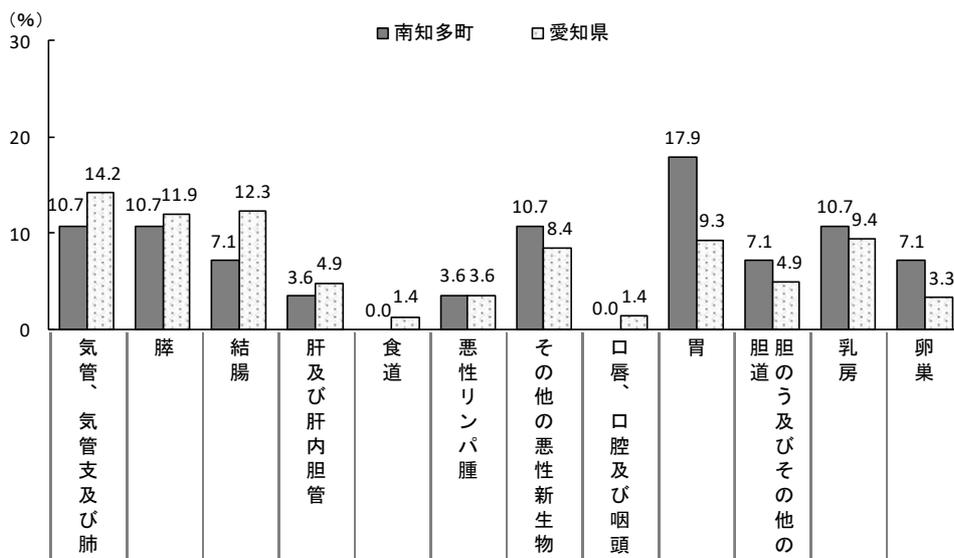
図7 男女別部位別悪性新生物死亡の割合（令和3年）

### 【男性】



資料：愛知県衛生年報

### 【女性】



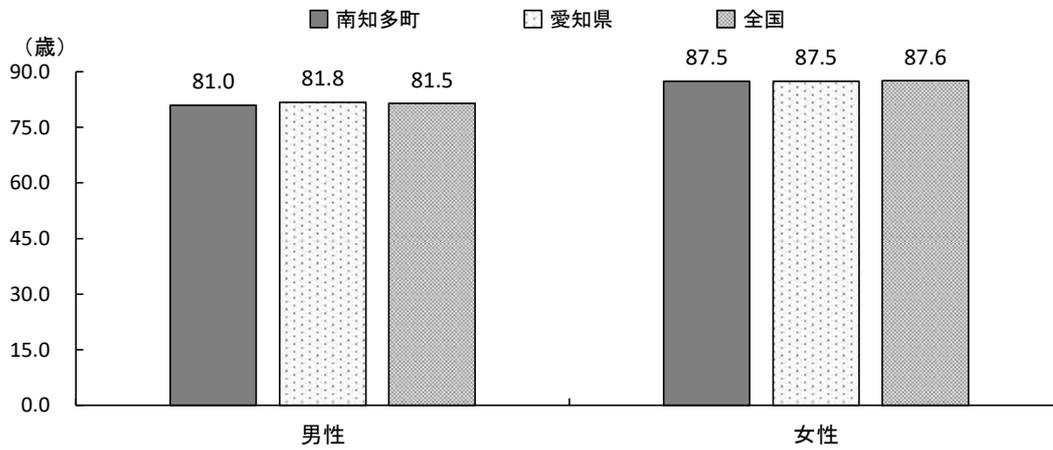
資料：愛知県衛生年報

## ⑦ 平均寿命

令和2年度の平均寿命は、男性が81.0歳、女性が87.5歳となっています。

愛知県、全国と比較すると、男性は数値を若干下回っていますが、女性はほぼ同数値となっています。

図8 平均寿命（令和2年度）



資料：厚生労働省 生命表

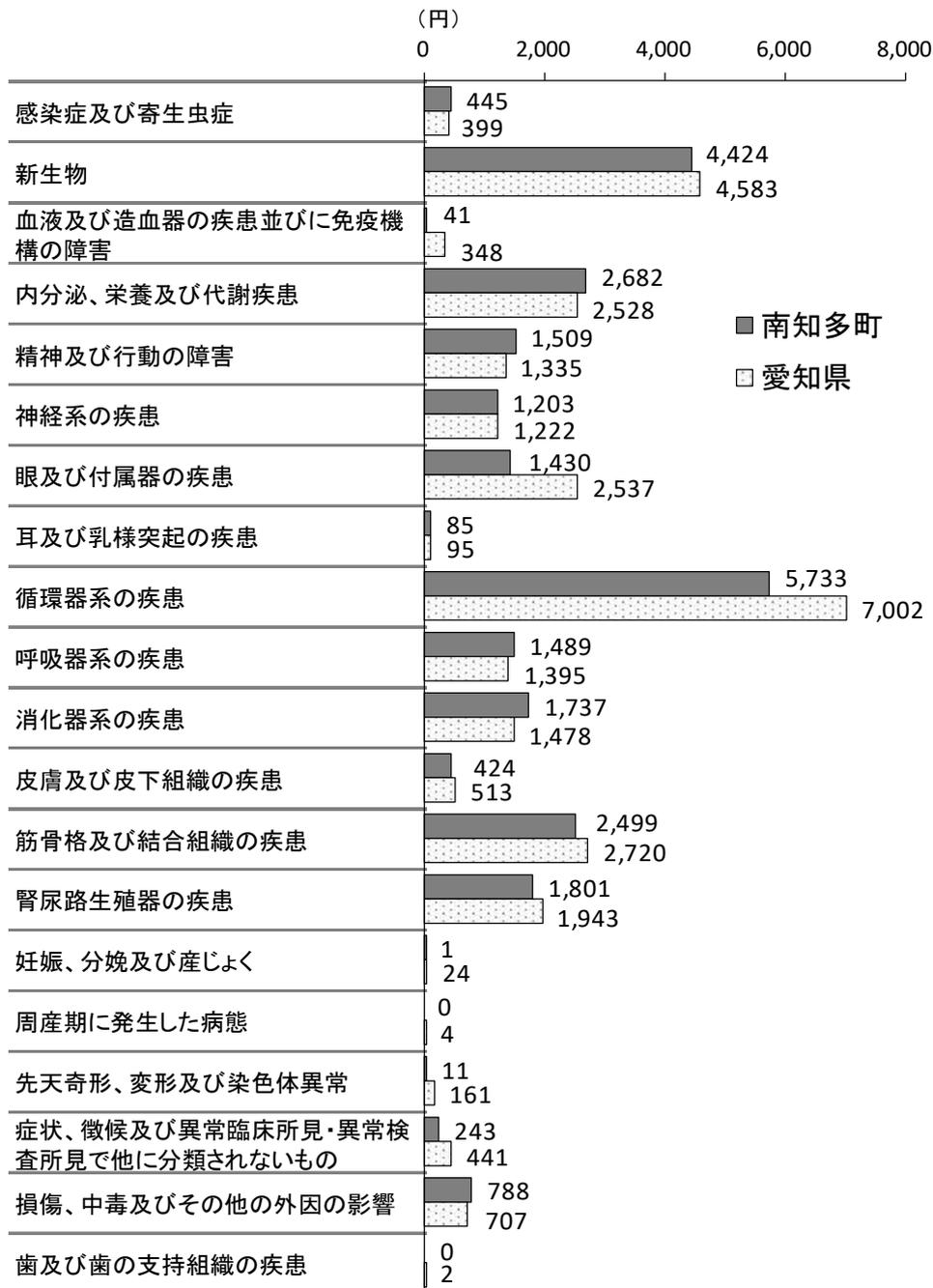
(2) 医療の状況

① 一人あたり医療費

一人あたりの医療費は、「循環器系の疾患」が最も高くなっています。次いで、「新生物」、「筋骨格及び結合組織の疾患」となっています。

愛知県と比較すると、「消化器系の疾患」が若干高くなっています。

図9 一人あたりの医療費（令和4年5月）



資料：AI Cube

### (3) 健診、その他の受診状況

#### ① がん検診受診状況

南知多町のがん検診の受診状況は愛知県、全国と比較すると、「肺がん検診」以外は低い数値になっています。特に、「胃がん」は約 3.0%、「大腸がん」は約 5.0%と低く推移しており、受診率の低さが課題となっています。

表 2 がん検診の受診率

(単位：%)

区分	胃がん検診(50歳～69歳)			大腸がん検診(40歳～69歳)			肺がん検診(40歳～69歳)			子宮がん検診(20歳～69歳)			乳がん検診(40歳～69歳)		
	南知多町	愛知県	全国	南知多町	愛知県	全国	南知多町	愛知県	全国	南知多町	愛知県	全国	南知多町	愛知県	全国
平成29年	-	9.9	8.4	4.7	8.7	8.4	16.0	8.7	7.4	-	17.7	16.3	-	16.8	17.4
平成30年	3.5	9.6	8.1	5.8	8.4	8.1	16.3	8.3	7.1	14.7	17.7	16.0	16.2	15.0	17.2
令和元年	2.8	8.8	7.8	6.5	8.0	7.7	15.5	7.8	6.8	12.2	14.6	15.7	15.8	15.0	17.0
令和2年	2.4	8.0	7.0	4.4	7.0	6.5	9.2	6.7	5.5	11.2	14.1	15.2	14.9	13.7	15.6
令和3年	2.3	7.3	6.5	5.0	7.3	7.0	12.2	7.0	6.0	10.7	17.0	15.4	14.7	14.7	15.4

資料：地域保健・健康増進事業報告

表 3 がん検診の受診率

(単位：%)

区分	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診	前立腺がん検診
	40歳以上	40歳以上	40歳以上	20歳以上	40歳以上	50歳以上
平成29年度	2.2	4.1	19.6	6.6	7.9	-
平成30年度	1.7	5.1	20.0	6.2	7.7	1.8
令和元年度	1.7	5.7	19.3	6.2	7.7	2.1
令和2年	1.2	4.2	11.0	4.8	6.0	1.4
令和3年	1.5	4.3	14.8	5.5	7.2	1.5
令和4年	1.7	5.1	17.5	5.6	7.3	1.8

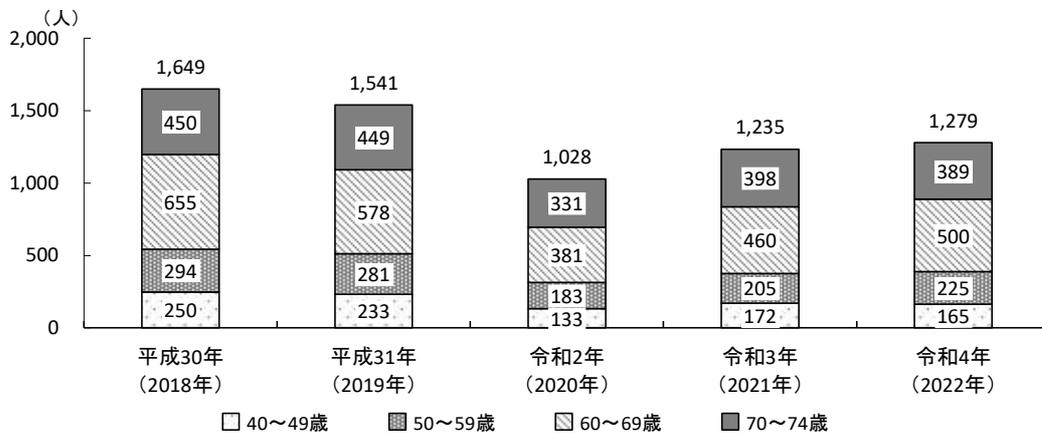
資料：庁内資料（健康こども課）

#### ② 特定健康診査の受診状況

##### ア 特定健康診査の対象者と受診者数・受診率

特定健康診査の受診者数と受診率は令和2年までは減少していましたが、令和3年で増加に転じています。令和4年の受診率では、60～69歳が37.5%と最も高くなっています（感染症対策のため令和2年より集団健診を予約制に変更）。

図 10 特定健康診査の受診者の推移



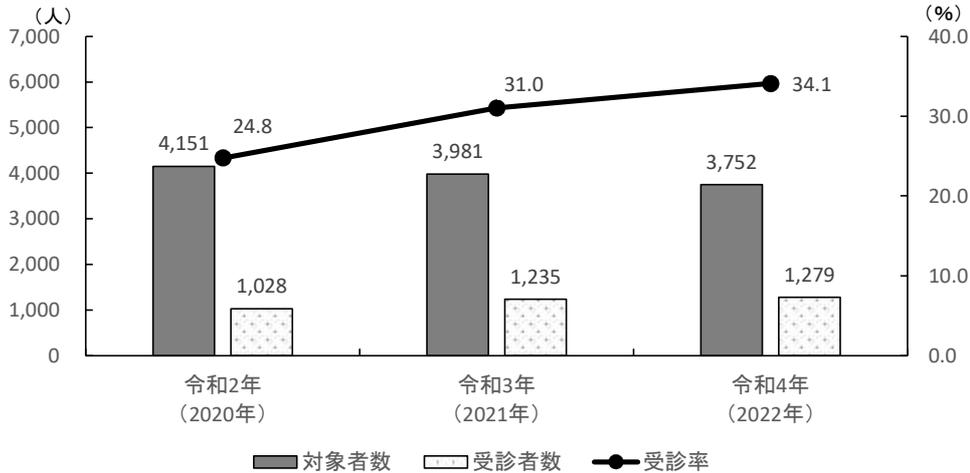
資料：特定健診・特定保健指導実施結果総括表

表4 特定健康診査の年齢別対象者数と受診率（令和4年）

	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)
40～49歳	587	165	28.1
50～59歳	713	225	31.6
60～69歳	1,333	500	37.5
70～74歳	1,119	389	34.8
全年齢	3,752	1,279	34.1

資料：特定健診・特定保健指導実施結果総括表

図11 特定健康診査の受診率の推移



資料：特定健診・特定保健指導実施結果総括表（令和4年は仮データ）

イ メタボリックシンドローム該当者割合

メタボリックシンドローム該当者割合は、令和4年の全年齢で見ると、男性は31.6%、女性は11.5%となっています。また、年齢が増すにつれ、割合が高くなる傾向がみられます。

表5 メタボリックシンドローム該当者割合（単位：%）

	平成31年		令和2年		令和3年		令和4年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
40～49歳	14.5	2.8	19.1	3.1	19.5	1.2	13.1	2.4
50～59歳	26.8	5.5	31.0	7.2	35.5	13.3	33.6	5.7
60～69歳	32.2	8.2	42.6	11.1	37.8	12.3	32.8	13.1
70～74歳	29.0	19.7	39.8	17.6	36.5	16.5	37.3	16.2
全年齢	27.3	10.5	36.3	11.6	34.3	12.4	31.6	11.5

資料：国保KDBシステム

ウ 喫煙率

喫煙率の推移は、男性が令和2年までは減少していましたが令和3年で増加に転じており、女性は概ね横ばいで推移しています。愛知県と比較すると、男性、女性ともに高い数値となっています。

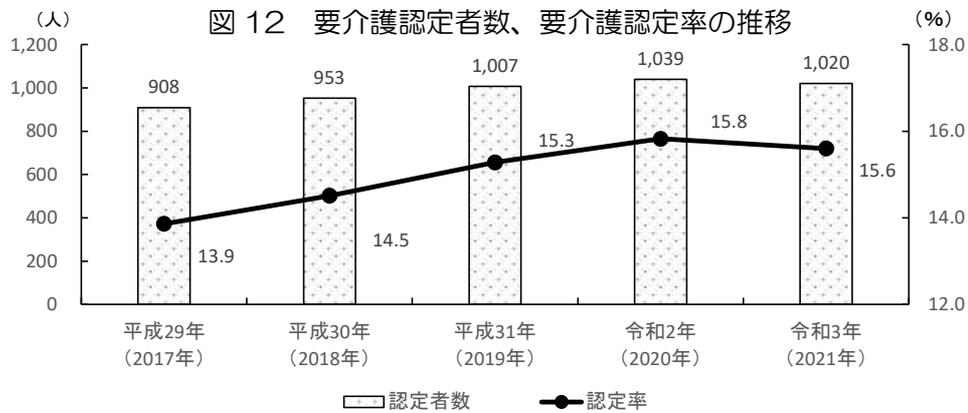
表6 喫煙率（単位：%）

	平成29年		平成30年		平成31年		令和2年		令和3年	
	南知多町	愛知県	南知多町	愛知県	南知多町	愛知県	南知多町	愛知県	南知多町	愛知県
男性	32.9	25.4	32.1	25.0	30.0	24.8	26.6	23.4	29.0	23.6
女性	10.2	5.8	10.7	5.7	9.4	5.7	9.5	5.4	9.9	5.6

資料：AI Cube

### ③ 要介護認定者数、要介護認定の推移

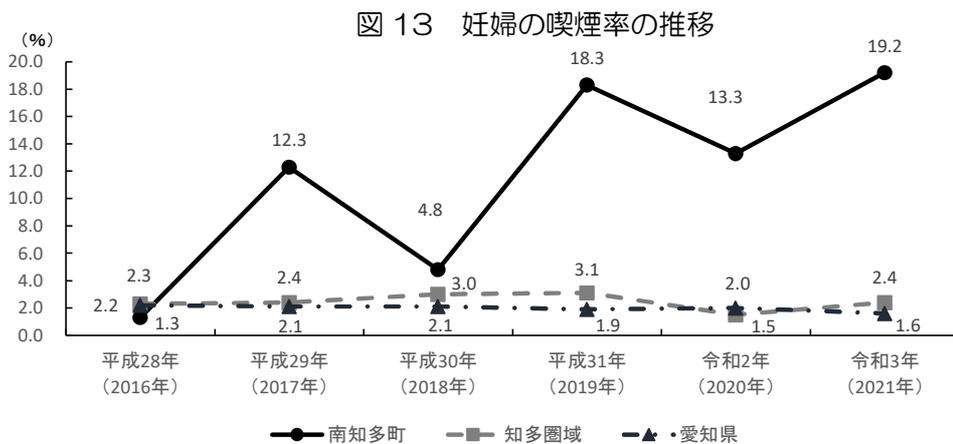
要介護認定者数、要介護認定率は令和2年までは増加がみられ、令和3年でわずかに減少に転じています。平成29年と比較すると、要介護認定者数は約112人増加しています。



資料：介護保険事業状況報告（各年度末）

### ④ 妊婦の喫煙率

妊婦の喫煙率は、知多圏域、愛知県と比較すると、令和3年では16%以上高くなっています。



資料：母子保健統計

## ⑤ 子どものう歯の状況

### ア 一人平均う歯数（就園児・就学児）

子どものう歯（むし歯）の状況は、年長児では、平成30年に2.47本まで増加していましたが、平成31年から減少に転じており、令和4年では1.00本となっています。小学生では、令和4年で3年生が0.08本、6年生が0.17本となっています。

表7 一人平均う歯数の推移

（単位：本）

		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年
年長児	南知多町	2.14	2.47	2.12	1.82	1.26	1.00
	愛知県	1.16	1.09	0.99	0.93	0.80	0.80
小学校3年	南知多町	0.06	0.07	0.15	0.16	0.22	0.08
	愛知県	0.13	0.11	0.11	0.10	0.09	-
小学校6年	南知多町	0.41	0.17	0.15	0.23	0.22	0.17
	愛知県	0.33	0.30	0.30	0.27	0.23	-

資料：地域歯科保健業務状況報告書集計結果概要

### イ 一人平均う歯数（1歳6か月児・3歳児）

一人平均う歯数は、1歳6か月児では、平成31年をピークに減少しています。3歳児では、平成30年をピークに減少しています。愛知県と比較すると、3歳児で高い数値となっています。

表8 一人平均う歯数の推移

（単位：本）

		平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
1歳6か月児	南知多町	0.00	0.00	0.11	0.03	0.00
	愛知県	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02
3歳児	南知多町	0.67	0.87	0.59	0.39	0.30
	愛知県	0.32	0.29	0.26	0.25	0.22

資料：地域歯科保健業務状況報告書集計結果概要

## 2 アンケート調査からみる現状

### (1) アンケートの概要

#### ①調査の目的

本調査は、町民の健康に関する意識や生活習慣等を把握し、「けんこう南知多プラン（第2期）」の最終評価および今後の計画策定の基礎資料を得る目的で実施しました。

#### ②調査対象

成人：南知多町に在住する20歳以上の男女の方、2,000人

小中学生：南知多町の小学校4～6年生、中学生全員

#### ③調査期間

令和5年7月26日～令和5年8月16日

#### ④調査方法

郵送配布および郵送回収、学校配布および学校回収

#### ⑤回収状況

	配布数	回収数	回収率
成人	2,000件	658件	32.9%
小学生	353件	308件	87.3%
中学生	382件	325件	85.1%

#### ⑥調査結果の表示方法

- ・比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのためパーセントの合計が100にならないことがあります。
- ・基数となるべき実数は「件数」として掲載しました。したがって比率は、件数を100%として算出しています。
- ・複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が回答者全体のうち何%なのか、という見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えています。
- ・肥満の判定は、BMI（Body Mass Index）で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会による肥満の判定基準により判定しました。この指数は、22を標準とし、18.5未満をやせすぎ、25.0以上を肥満、30.0以上を高度肥満としています。

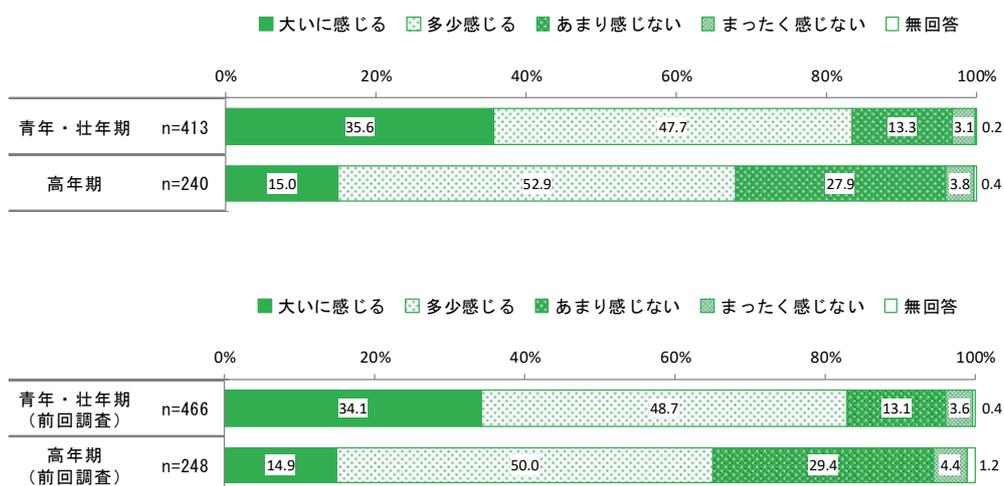
計算方法：BMI = 体重 kg / (身長 × 身長) m

## (2) ころこ・休養について

### ① ストレスの有無

ストレスを感じたことがあるかについては、青年・壮年期では「大いに感じる」が4割近くと高く、「大いに感じる」と「多少感じる」を合わせると8割を超えています。高年期では「あまり感じない」が3割近くとなっています。前回調査と比較しても、大きな違いはみられません。

図1 ストレスの有無

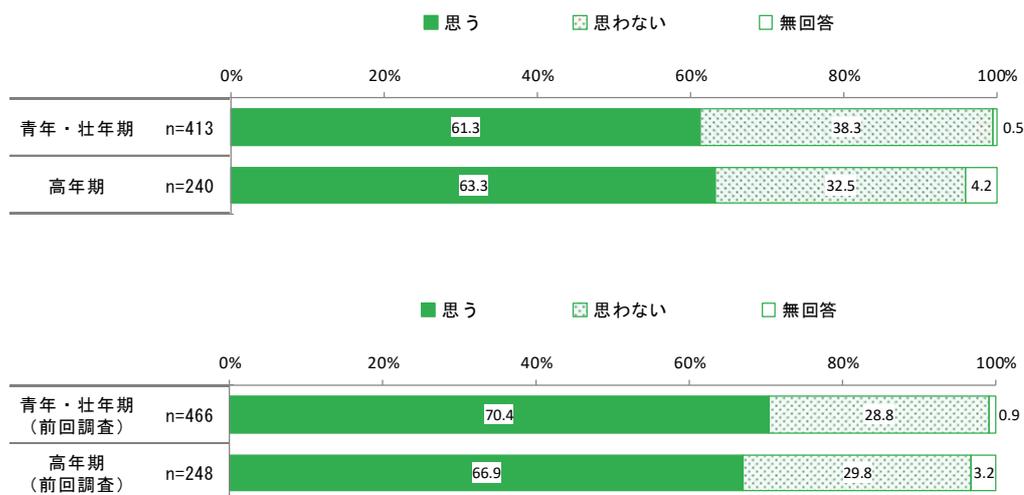


### ② ストレスとの付き合い方

ストレスとうまく付きあえているかについては、うまく付きあえていると「思う」が青年・壮年期、高年期ともに約6割となっています。青年・壮年期ではうまく付きあえていると「思わない」が約4割となっています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともうまく付きあえていると「思う」が減少しています。

図2 ストレスとうまく付きあえていると思うか

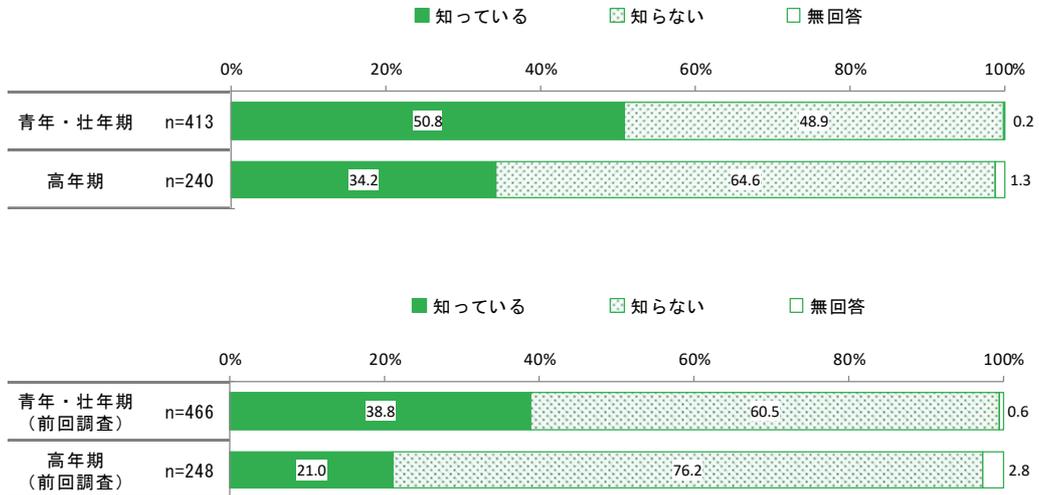


### ③ 心の相談ができる窓口の認知度

心の相談ができる窓口の認知度については、青年・壮年期では「知っている」が約半数である一方、高年期では「知らない」が6割を超えています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともに「知っている」が増加しています。

図3 心の相談ができる窓口の認知度

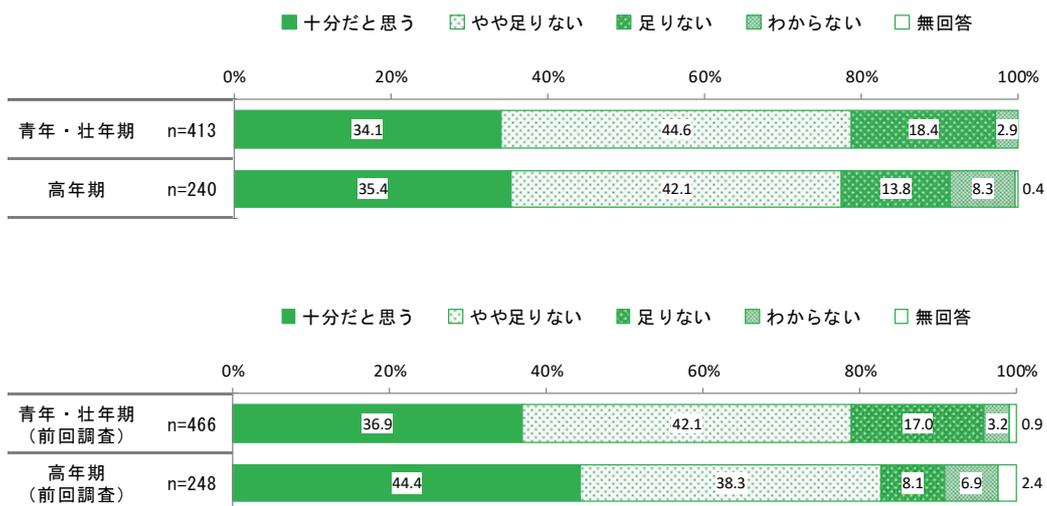


### ④ 睡眠による休養の充足度

睡眠によって休養がとれているかについては、青年・壮年期、高年期ともに「十分だと思う」が約3分の1となっています。青年・壮年期では「足りない」が約2割となっており、「足りない」と「やや足りない」を合わせると6割を超えています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともに「十分だと思う」が減少しています。

図4 睡眠による休養の充足度

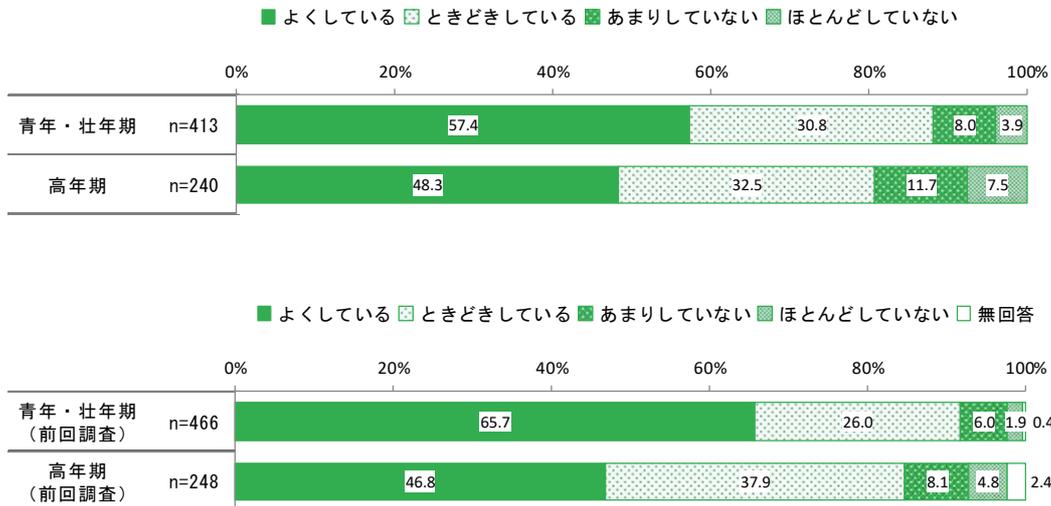


## ⑤ 家族や友人との会話

普段家族や友人と会話をしているかについては、「よくしている」が青年・壮年期では6割近く、高年期では5割近くとなっています。高年期では「ほとんどしていない」が1割近くあり、「ほとんどしていない」と「あまりしていない」を合わせると約2割となっています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期で「よくしている」が減少しています。

図5 家族や友人との会話

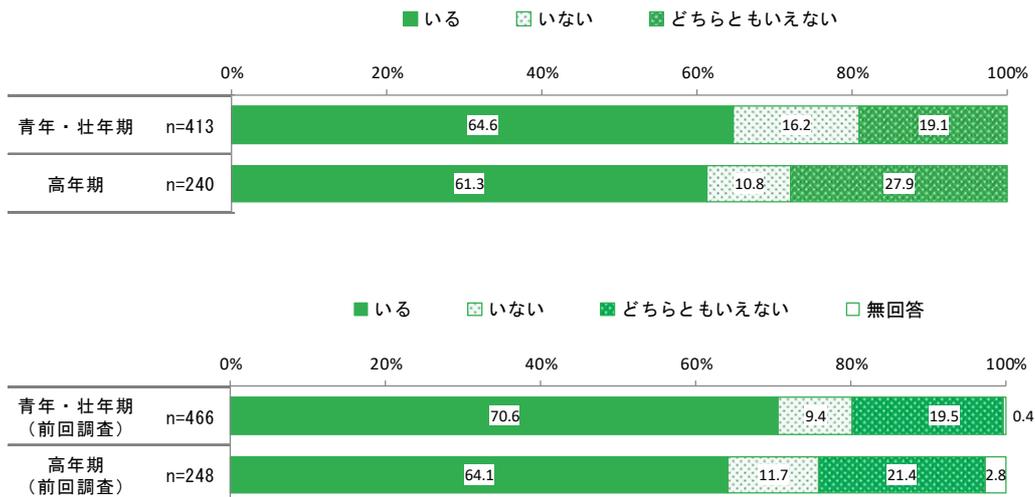


## ⑥ 困ったときの家族以外の相談相手等

困ったときの家族以外の相談相手や、手をかしてくる人の有無については、青年・壮年期、高年期ともに「いる」が約6割となっています。

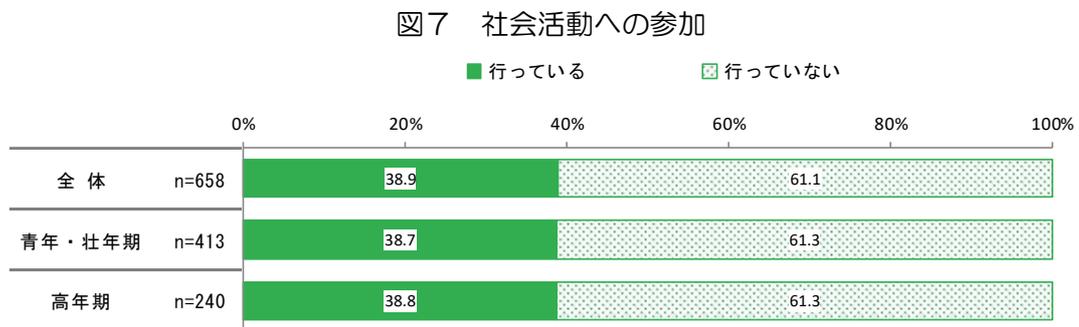
前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともに「いる」が減少しています。

図6 困ったときの家族以外の相談相手等



## ⑦ 社会活動への参加

いずれかの社会活動を行っているかについては、青年・壮年期、高年期ともに「行っていない」が約6割となっています。



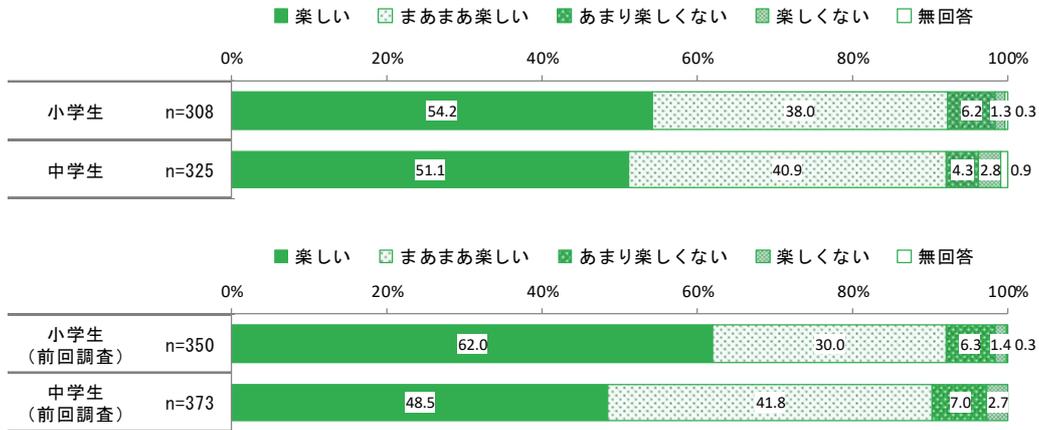
※「社会活動を行っている者の割合」は「健康日本21（第3次）推進のための説明資料（令和5年5月）」に基づく指標です。

## ⑧ 小中学生の毎日の生活の楽しさ

小中学生の毎日の生活の楽しさについては、小学生、中学生ともに「楽しい」が約半数となっており、「楽しい」と「まあまあ楽しい」を合わせると9割を超えています。

前回調査と比較すると、小学生の「楽しい」が減少しています。

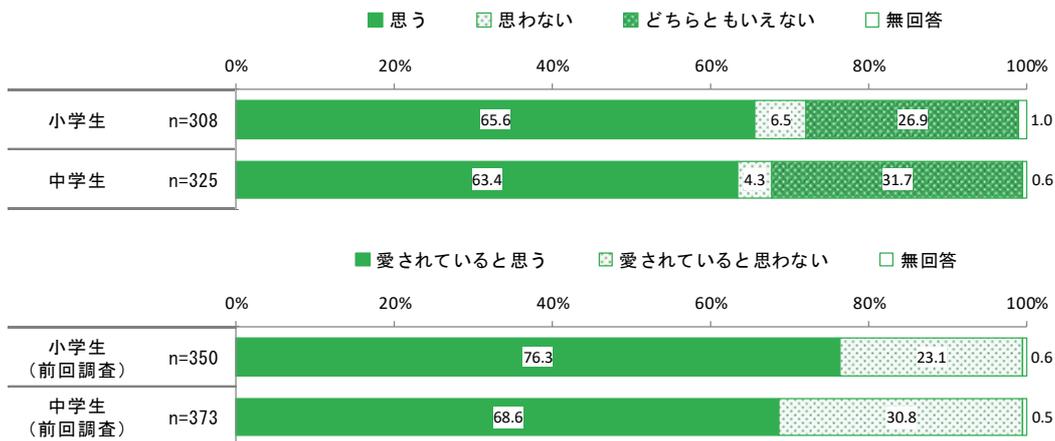
図8 毎日の生活の楽しさ



## ⑨ 小中学生の愛されている自覚

小中学生の自分が愛されている自覚については、小学生、中学生ともに「思う」が6割を超えている一方、「思わない」は1割未満、「どちらともいえない」が3割前後となっています。

図9 小中学生の愛されている自覚



※前回は「どちらともいえない」の選択項目はありません。

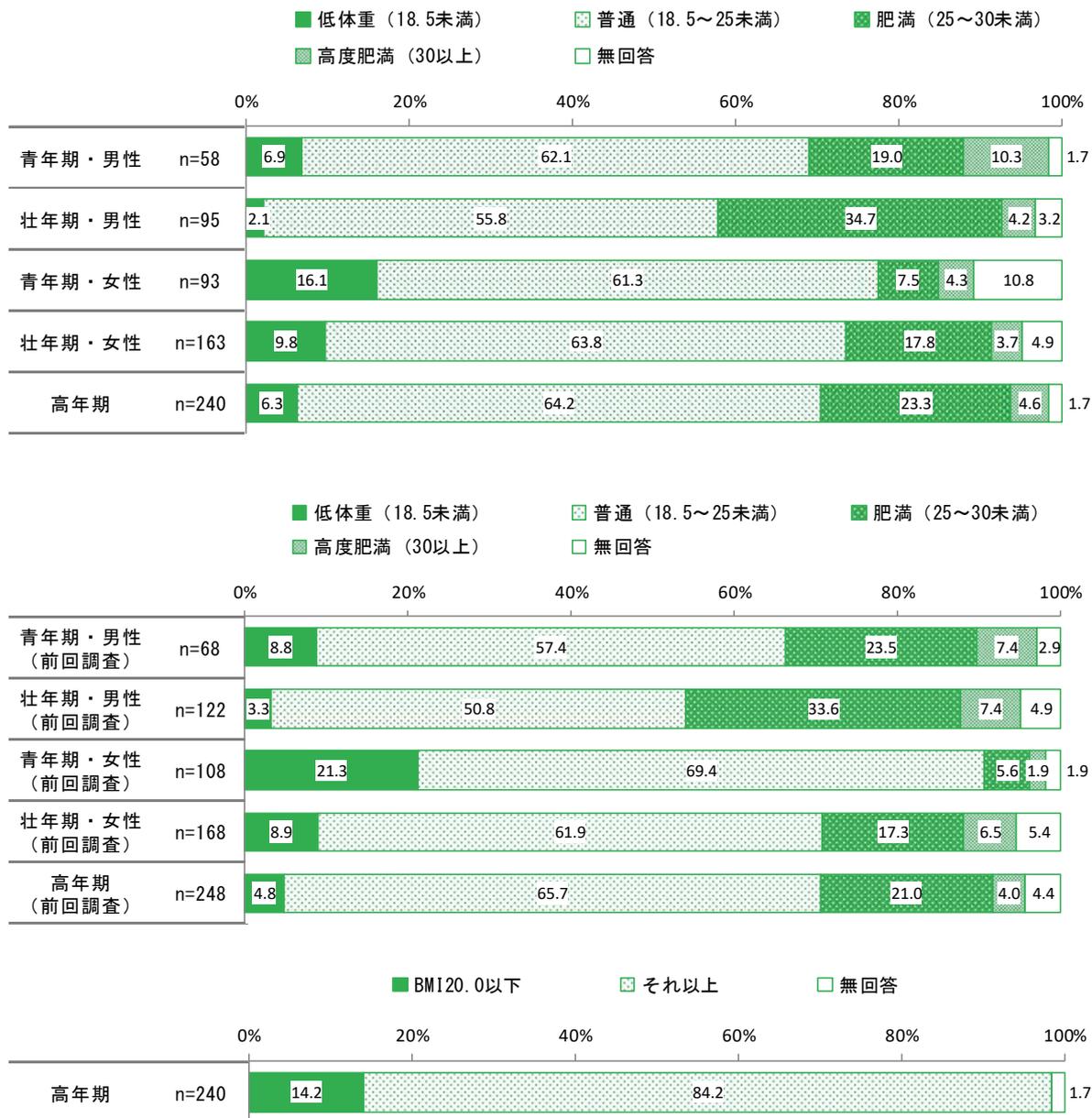
### (3) 食生活について

#### ① BMI (肥満度)

BMI (肥満度) については、壮年期の男性で「肥満」と「高度肥満」を合わせると約 4 割、青年期の女性で「低体重」が 1 割を超えています。

前回調査と比較すると、青年期の女性で「低体重」が減少しています。

図 10 BMI (肥満度)



※BMI：身長からみた体重の割合を示す体格指数のひとつ。

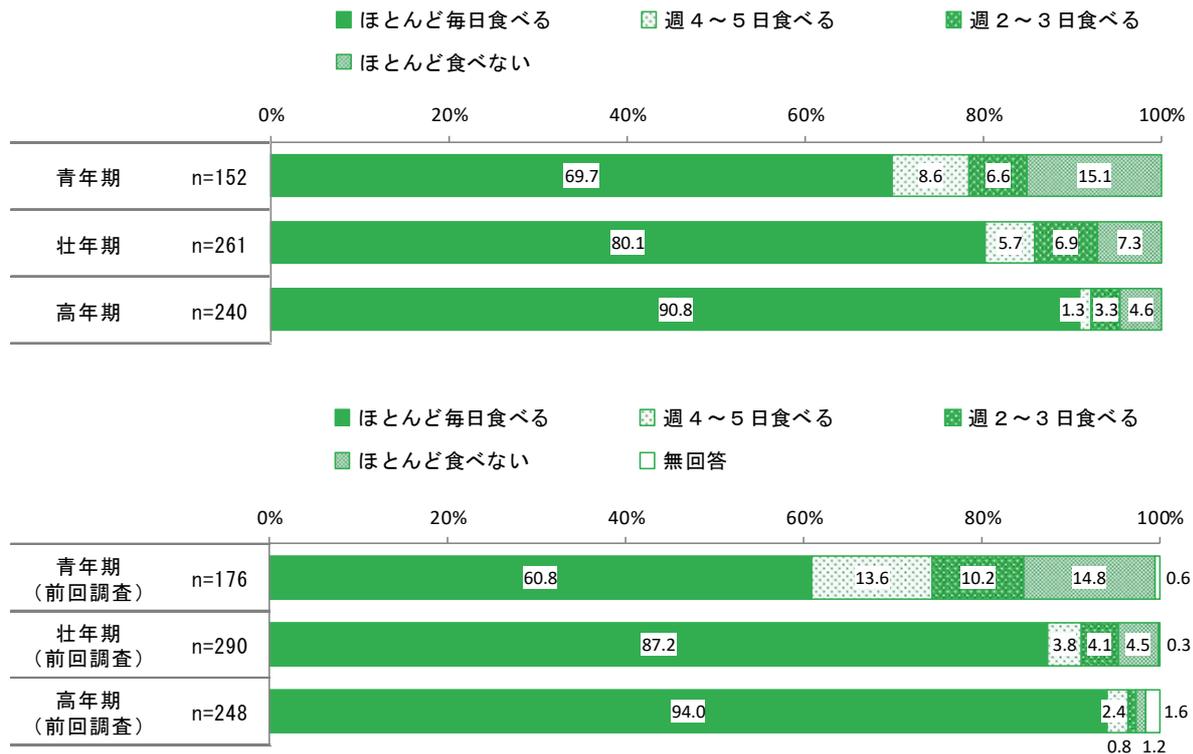
体重 kg / (身長 × 身長) m で算出し、18.5 以上 25 未満が適正体重とされています。

## ② 朝食の摂取状況

朝食の摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」が青年期では約7割、壮年期では約8割、高年期では約9割と高くなっています。青年期では、「ほとんど食べない」が他の世代と比べて多くなっています。

前回調査と比較すると、「ほとんど毎日食べる」は青年期で増加している一方、壮年期、高年期は減少しています。

図 11 朝食の摂取状況

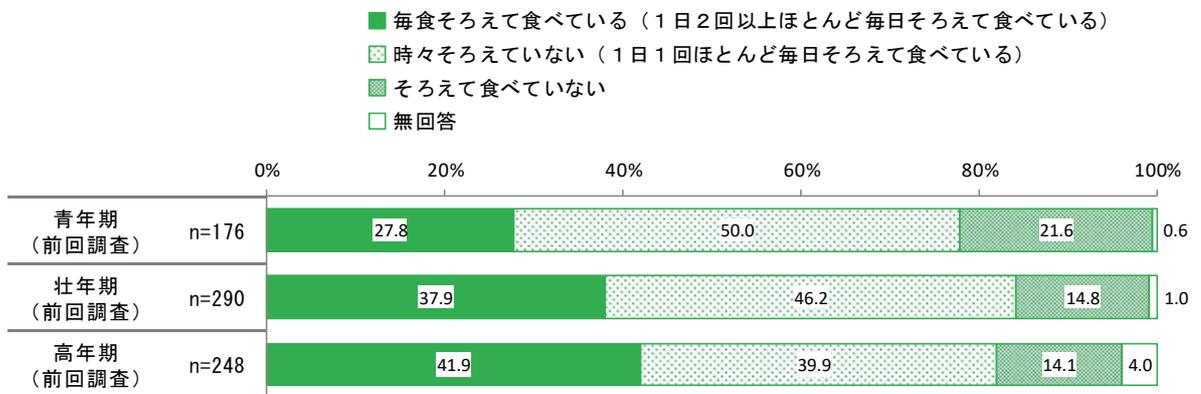
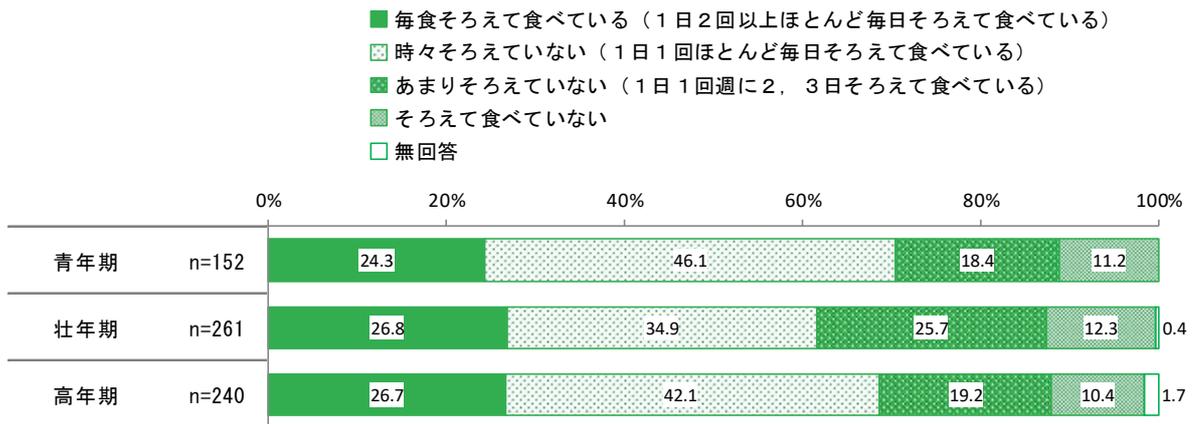


### ③ 主食・主菜・副菜の摂取状況

主食・主菜・副菜をそろえて食べているかについては、青年期、壮年期、高年期いずれも「毎食そろえて食べている」が3割を切っています。「毎食そろえて食べている」と「時々そろえていない」をあわせた『1日1回以上ほとんど毎日そろえて食べている』は、青年期、高年期で約7割、壮年期で約6割となっています。

前回調査と比較すると、青年期、壮年期、高年期いずれも「毎食そろえて食べている」が減少しています。

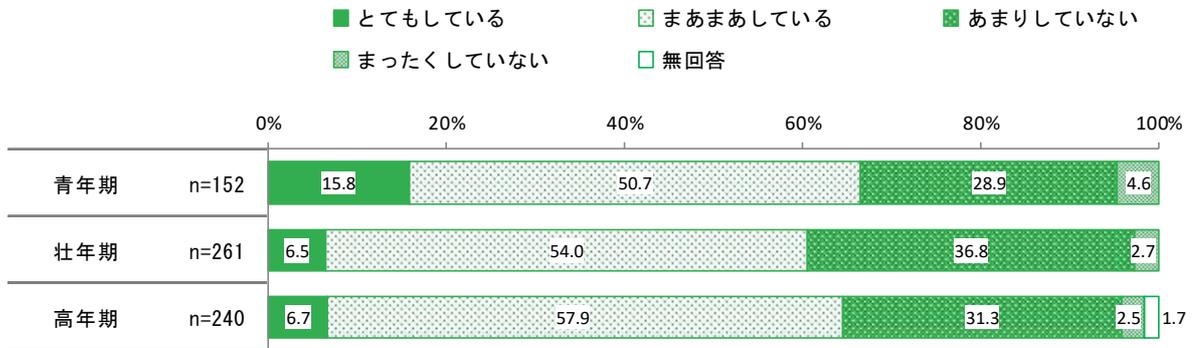
図 12 主食・主菜・副菜の摂取状況



#### ④ そしゃく状況

よく噛んで味わっているかについては、壮年期、高年期では「とてもしている」が1割を切っています。壮年期では、「あまりしていない」が他の世代と比べて多くなっています。

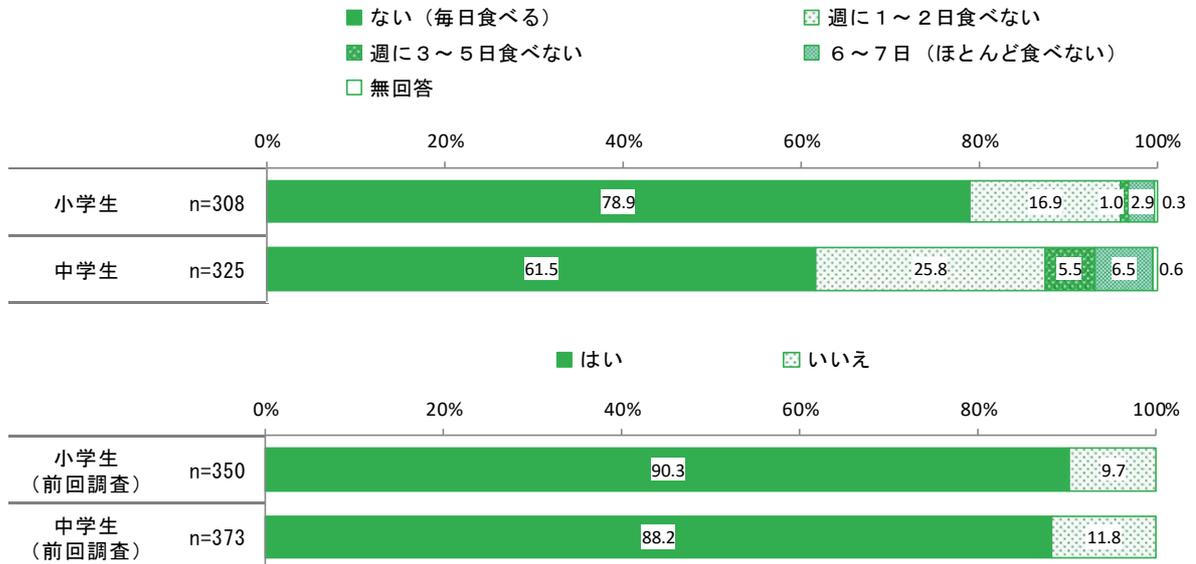
図 13 そしゃく状況



#### ⑤ 小中学生の朝食の摂取状況

小中学生の朝ごはんを食べない日が週に何日あるかについては、「ない（毎日食べる）」が小学生では8割近く、中学生では約6割となっています。中学生では、「週に3～5日食べない」と「6～7日（ほとんど食べない）」を合わせると1割を超えています。

図 14 小中学生の朝食の摂取状況

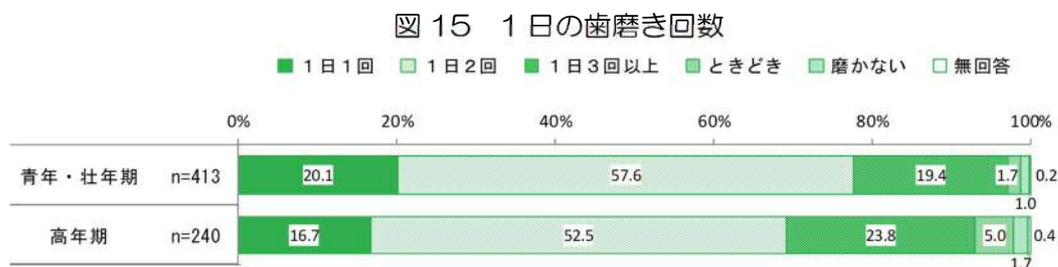


※前回は「毎朝朝ごはんを食べますか」と調査しています。

## (4) 歯について

### ① 1日の歯磨き回数

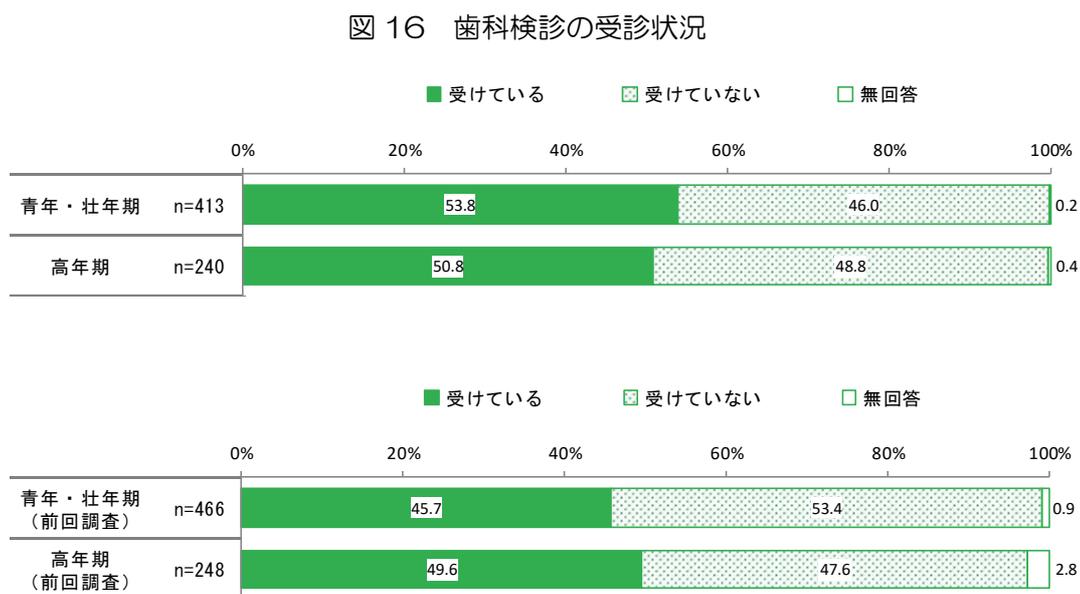
1日何回歯磨きをするかについては、青年・壮年期、高年期ともに「1日2回」が半数を超えています。青年・壮年期では「1日1回」、高年期では「1日3回以上」が2割を超えています。



※前回は「いつ歯磨きをしていますか」と調査しています。

### ② 歯科検診の受診状況

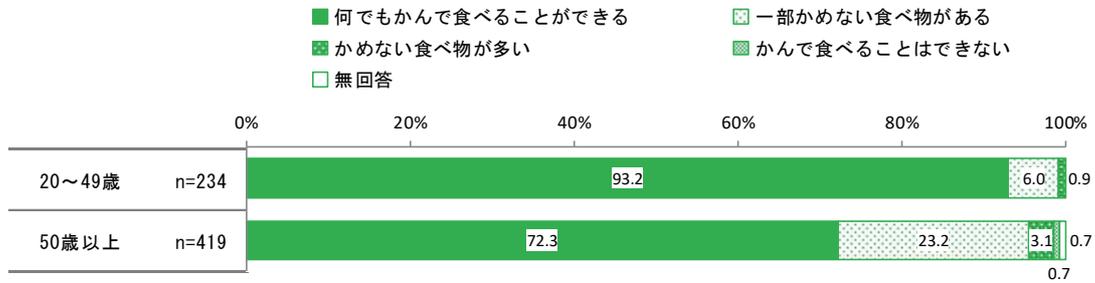
歯科検診の受診状況は、青年・壮年期、高年期ともに「受けている」が半数を超えています。前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともに「受けている」が増加しています。



### ③ そしゃくの可否

何でもかんで食べることができるかについては、20～49歳では「何でもかんで食べることができる」が9割を超えている一方、50歳以上では「一部かめない食べ物がある」、「かめない食べ物が多い」、「かんで食べることはできない」を合わせると約3割となっています。

図 17 そしゃくの可否



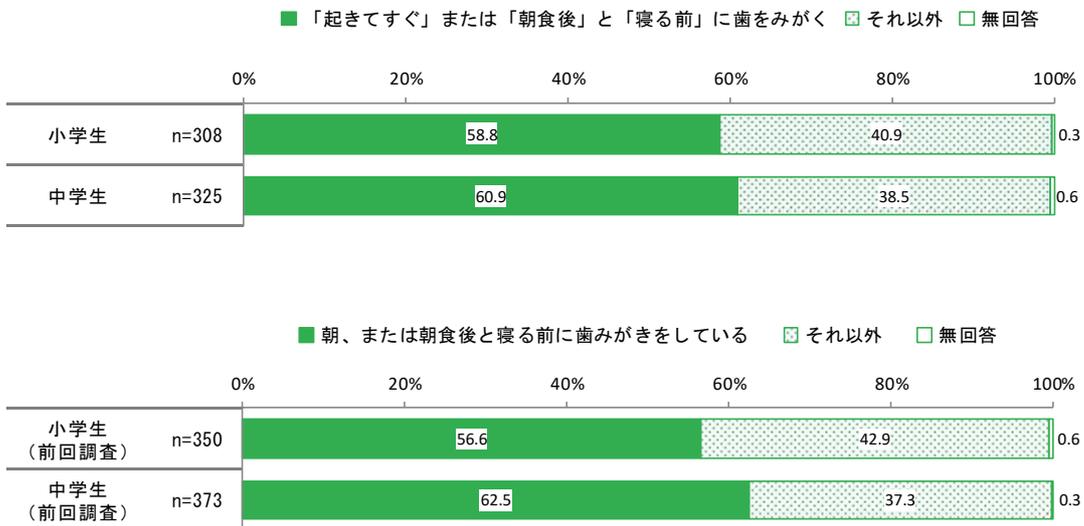
※「50歳以上におけるそしゃく良好者の割合」は「健康日本21（第3次）推進のための説明資料（令和5年5月）」に基づく指標です。

### ④ 小中学生の歯磨きのタイミング

小中学生の歯磨き回数については、小学生、中学生ともに「『起きてすぐ』または『朝食後』と『寝る前』に歯を磨く」が約6割となっています。

前回調査と比較すると、「『起きてすぐ』または『朝食後』と『寝る前』に歯を磨く」は小学生で微増、中学生では微減しています。

図 18 小中学生の歯磨き回数

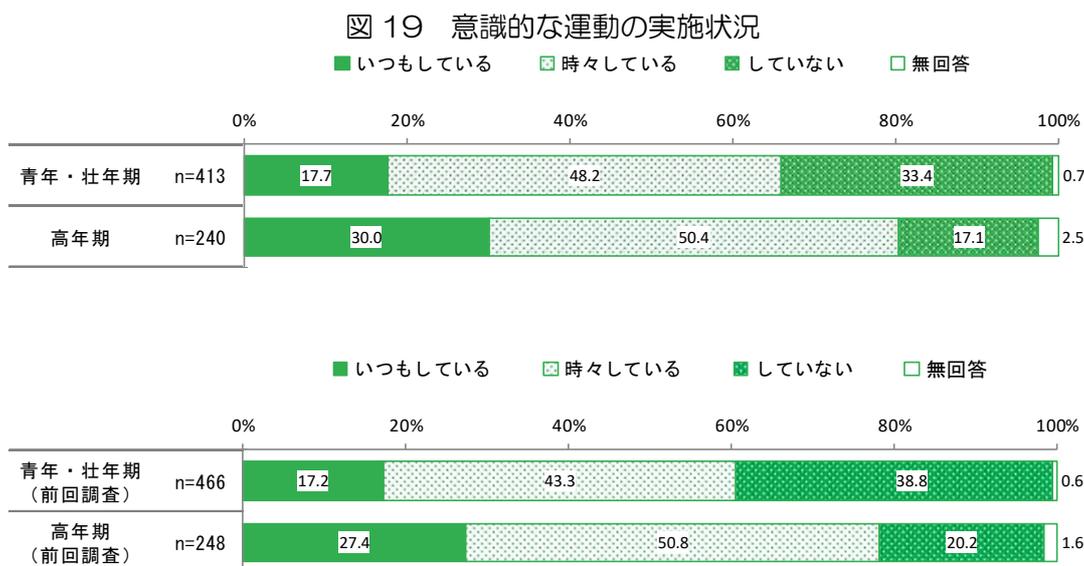


## (5) 運動について

### ① 意識的な運動の実施状況

日頃から意識的に体を動かしているかについては、高年期の「いつもしている」が3割となっています。「いつもしている」と「時々している」を合わせると、青年・壮年期は6割超となっている一方、高年期は約8割と高くなっています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともに「していない」が減少しています。

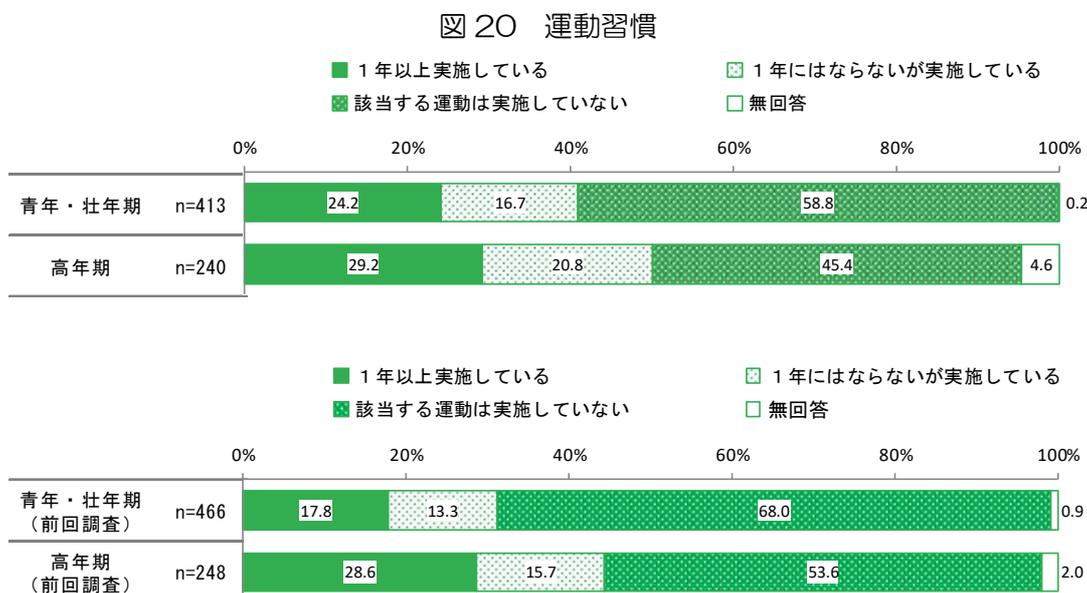


### ② 運動習慣

運動習慣については、「該当する運動は実施していない」が青年・壮年期で約6割と高くなっている一方、高年期では4割超となっています。高年期では「1年以上実施している」が約3割となっています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期では「1年以上実施している」が増加しています。

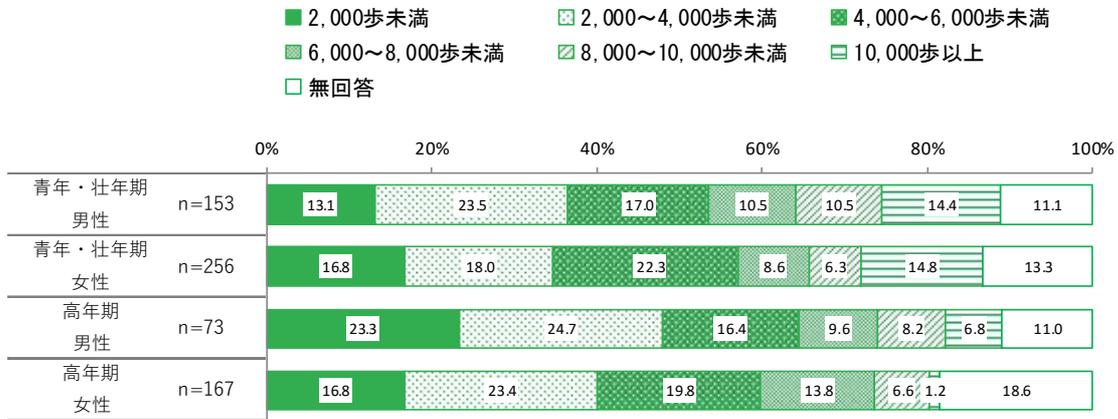
※該当する運動とは、1日30分以上で週2回以上の運動を指します。



### ③ 1日の平均歩数

1日平均何歩くらい歩くかについては、青年・壮年期の男性で「2,000～4,000歩未満」、青年・壮年期の女性で「4,000～6,000歩未満」、高年期では男女ともに「2,000～4,000歩未満」が約2割で最も高くなっています。高年期の男性では、『4,000歩未満』が約半数を占めています。

図 21 1日の平均歩数



年代	青年・壮年期		高年期	
1日の平均歩数	5,120 歩		4,191 歩	
性別	男性	女性	男性	女性
1日の平均歩数	5,241 歩	5,052 歩	4,580 歩	4,005 歩

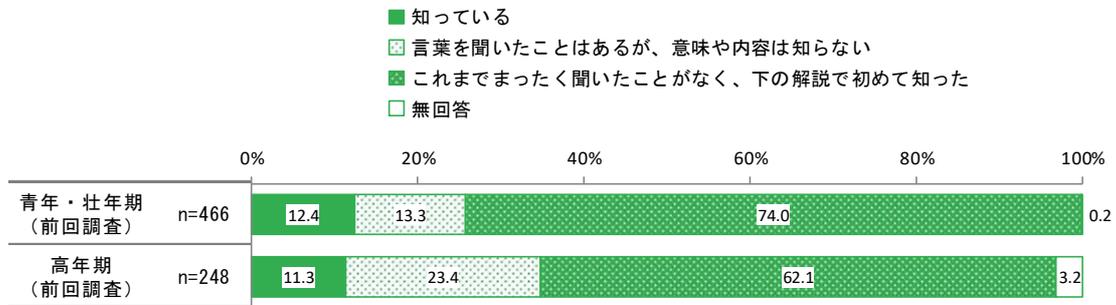
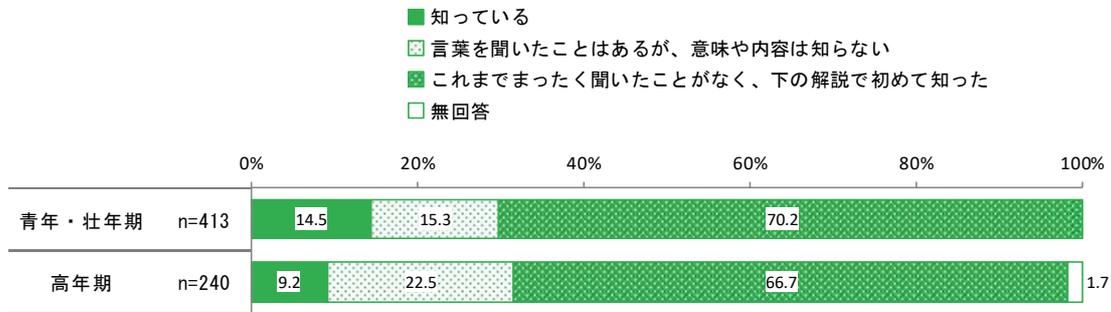
※「1日の歩数の平均値（日常生活における歩数の増加）」は「健康日本21（第3次）推進のための説明資料（令和5年5月）」に基づく指標です。

#### ④ ロコモティブシンドロームの認知度

「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」の認知度については、青年・壮年期、高年期ともに「これまでまったく聞いたことがなく、下の解説で初めて知った」が7割前後と高くなっています。

前回調査と比較すると、「知っている」と「言葉を聞いたことはあるが、意味や内容は知らない」を合わせた認知度は、高年期で減少しています。

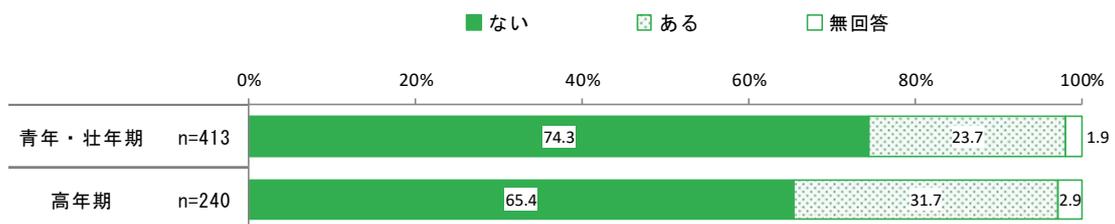
図 22 ロコモティブシンドロームの認知度



#### ⑤ 足腰の痛みの有無

足腰に痛みがあるかについては、高年期で「ある」が約3割となっています。

図 23 足腰の痛みの有無



※「足腰に痛みのある高齢者の割合」は「健康日本21（第3次）推進のための説明資料（令和5年5月）」に基づく指標です。

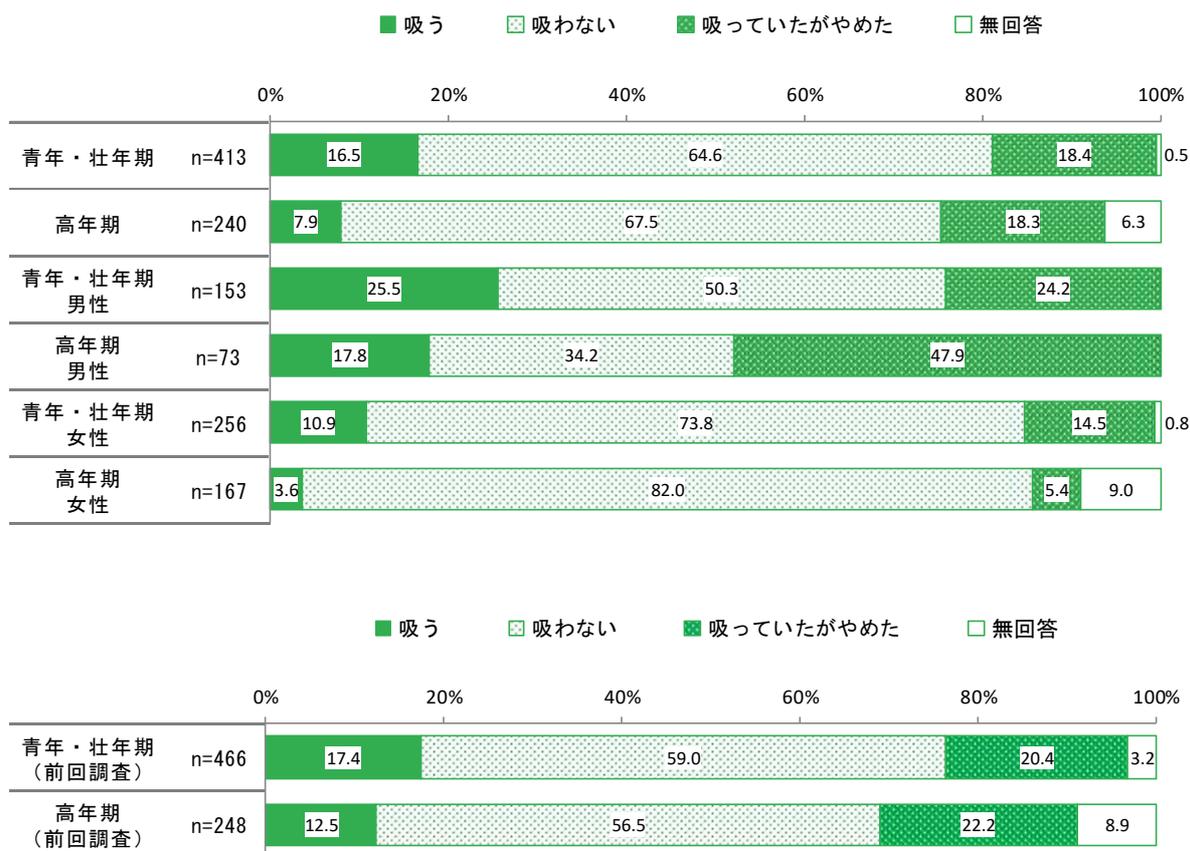
## (6) たばこについて

### ① 喫煙状況

喫煙状況については、青年・壮年期の男性で「吸う」が2割超、高年期の男性で「吸っていたがやめた」が約5割と高くなっています。青年・壮年期、高年期とも女性では「吸わない」が約7～8割と高くなっています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期、高年期ともに「吸わない」が増加しています。

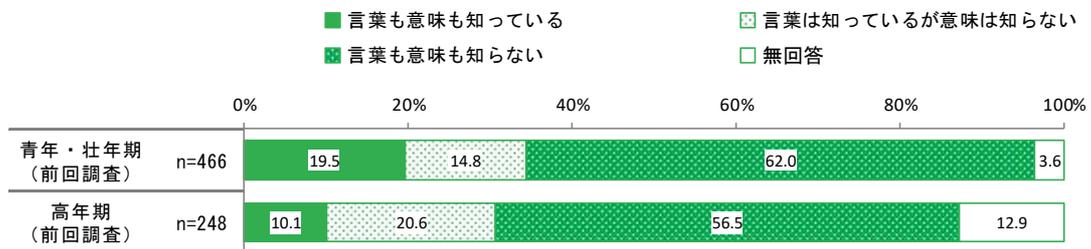
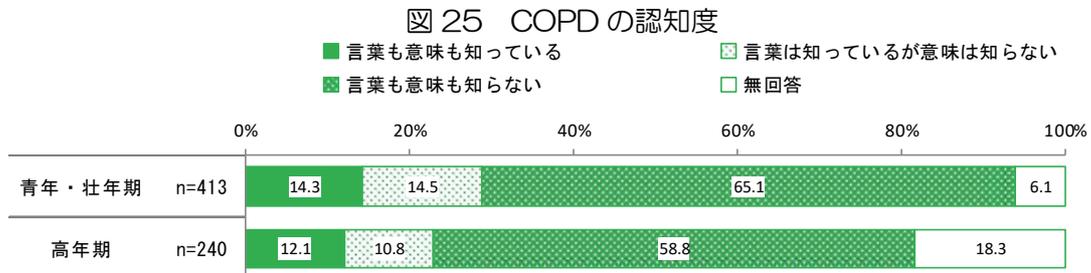
図 24 喫煙状況



## ② COPD の認知度

「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」の認知度については、「言葉も意味も知らない」が青年・壮年期で6割超、高年期では6割近くと高くなっています。

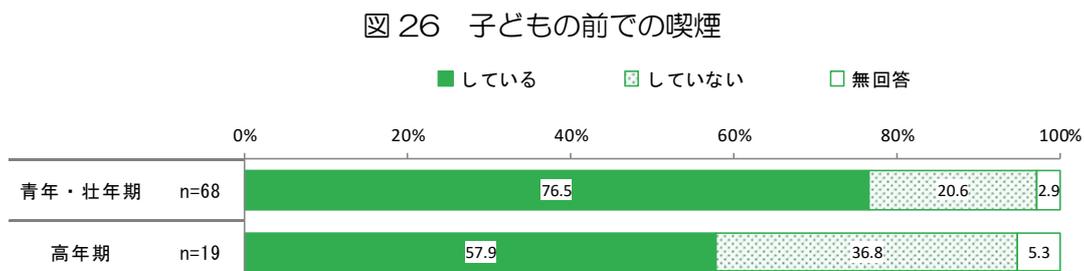
前回調査と比較すると、青年・壮年期の「言葉も意味も知っている」、高年期の「言葉は知っているが意味は知らない」が減少しています。



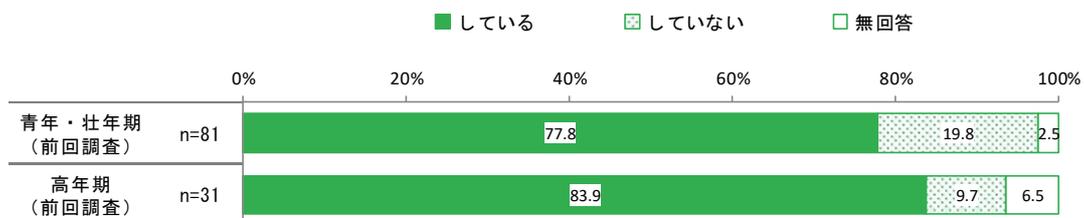
## ③ 子どもの前での喫煙

子どもの前でたばこを吸わないようにしているかについては、青年・壮年期で「している」が8割近くとなっています。

前回調査と比較しても、青年・壮年期に大きな違いはみられません。



※高年期は件数が少ないため、参考程度とします。

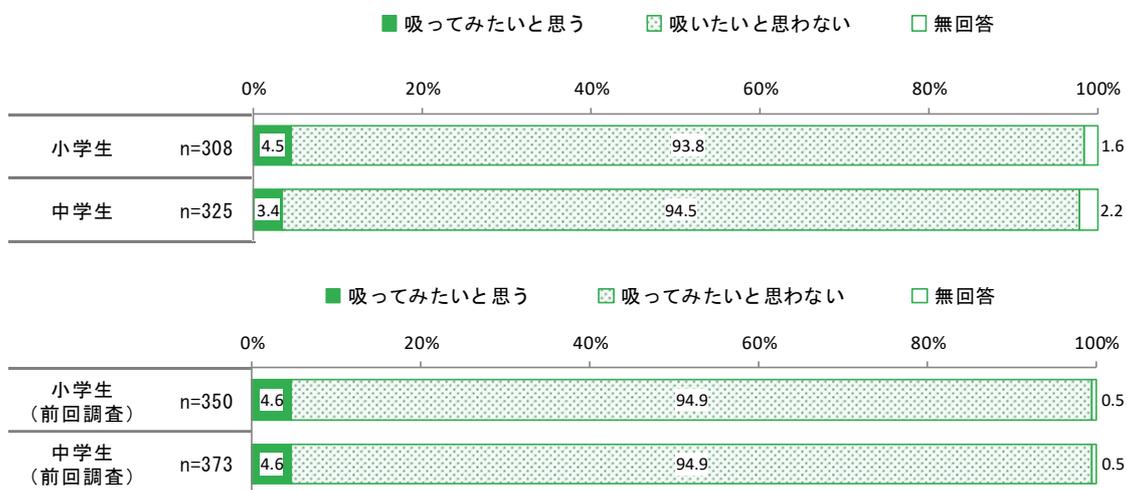


#### ④ 小中学生の喫煙希望状況

小中学生の喫煙希望状況については、小学生、中学生ともに「吸ってみたいと思わない」が9割を超えています。

前回調査と比較しても、大きな違いはみられません。

図 27 小中学生の喫煙希望状況

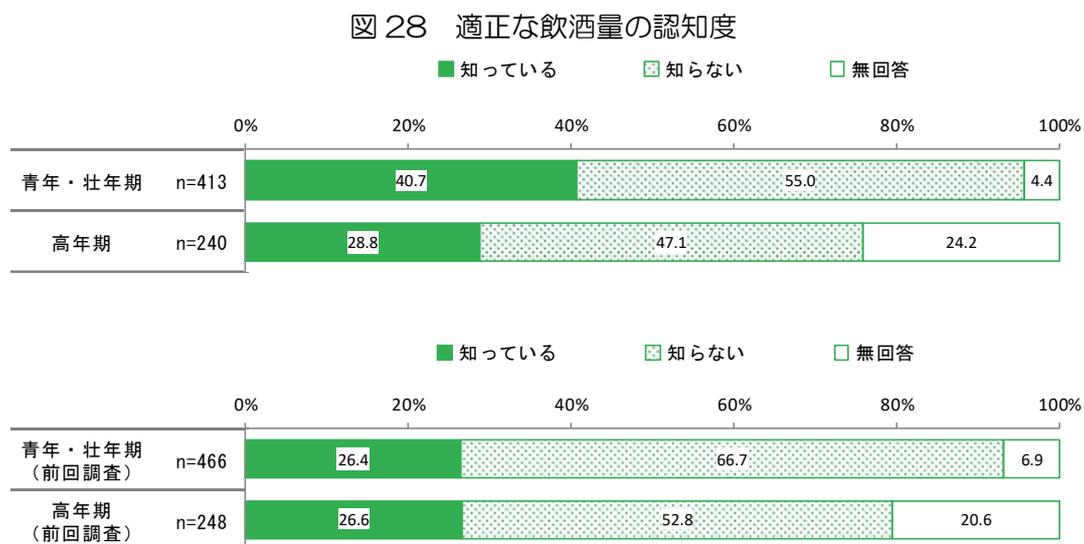


## (7) アルコールについて

### ① 適正な飲酒量の認知度

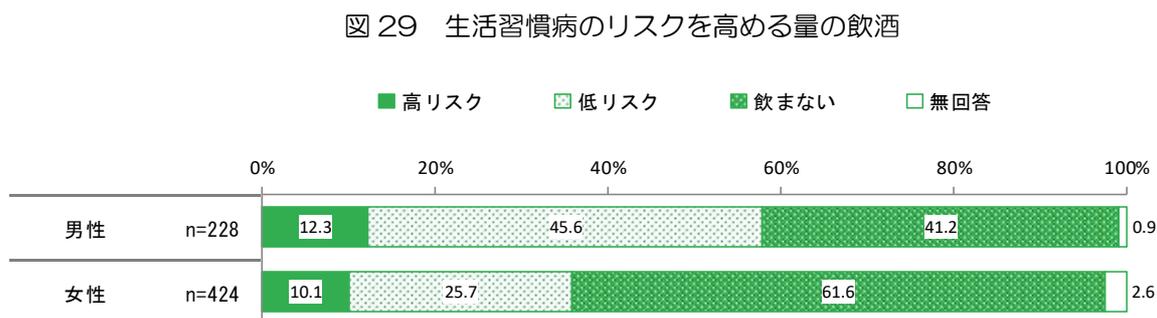
適正な飲酒量の認知度については、青年・壮年期、高年期ともに「知らない」が5割前後と高くなっています。

前回調査と比較すると、青年・壮年期の「知っている」が増加しています。



### ② 生活習慣病のリスクを高める飲酒量

生活習慣病のリスクを高める飲酒量については、「高リスク」が男性で 12.3%、女性で 10.1%となっています。「飲まない」は、女性で約6割を占めている一方、男性では約4割となっています。



※飲酒（アルコール）については、『健康日本21 あいち新計画』の指標に統一しています。

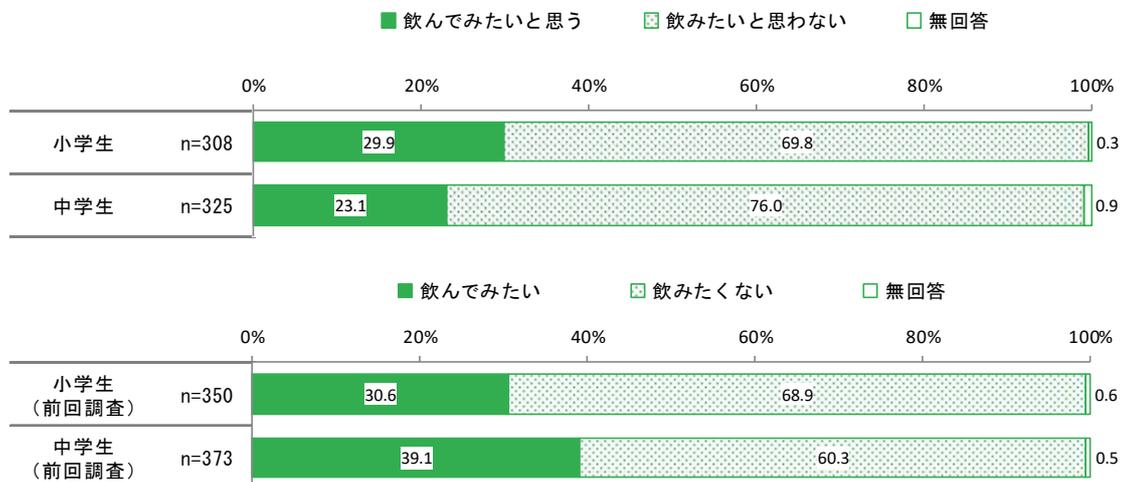
※生活習慣病のリスクを高める量の飲酒は、『健康日本21 あいち新計画』の生活習慣病のリスクを高める量（男性 40g 以上、女性 20g 以上）を飲酒している者で集計しています。

### ③ 小中学生の飲酒希望状況

小中学生の飲酒希望状況については、小学生、中学生ともに「飲みたいと思わない」が7割前後と高くなっています。

前回調査と比較すると、中学生で「飲みたいと思わない」が増加しています。

図 30 小中学生の飲酒希望状況



### 3 けんこう南知多プラン（第2期）最終評価

「けんこう南知多プラン」は、アンケート調査などを基に、健康づくりの施策に対する評価指標が設定されています。計画の見直しに当たり、各指標の達成状況を評価しました。

評価	基準
A	目標達成
B	目標は未達だが令和元年度より改善
C	令和元年度からほぼ横ばい
D	令和元年度より悪化
—	基準などの変更により評価不可

※アンケート結果による指標の達成状況については、第2次計画策定時と中間評価の実績を比較し、±1%までの変動は「C 平成30年度からほぼ横ばい」としています。

#### (1) 全体の目標達成状況

ライフステージ別	A	B	C	D	総数
妊娠期・乳幼児期	2	2	0	4	8
学童期・思春期	0	5	3	5	13
青年期・壮年期	1	9	1	9	20
高年期	1	3	0	7	11

重点課題別	A	B	C	D	総数
こころ・休養	0	3	2	6	11
食生活	0	5	0	5	10
歯	2	3	0	4	9
運動	1	4	0	4	9
たばこ・アルコール	1	5	2	6	14

## (2) 妊娠期・乳幼児期

「外遊びをしている子」、「妊婦の飲酒率」は令和元年度より減少し、目標を達成しています。

一方で、「相談相手のいる親」、「ゆったりとした気分で子どもと接することができる保護者」は令和元年度より減少、「妊婦の喫煙率」は増加しています。

指標（評価方法）	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和5年度)	評価
子育てが楽しいと思う親	67.0%	60.0%	54.6%	D
相談相手のいる親（3～4 か月児健診）	97.4%	100.0%	95.9% (令和4年度)	D
ゆったりとした気分で子どもと接することができる保護者 (1歳6か月児健診)	86.3%	87.0%	79.6% (令和4年度)	D
おやつを1日3回以上食べる子（3歳児健診）	20.2%	10.0%	13.8% (令和4年度)	B
う蝕のない幼児（3歳児健診）	83.1% (平成30年度)	95.0%	88.7% (令和4年度)	B
外遊びをしている子（3歳児健診）	85.1%	95.0%	95.2% (令和4年度)	A
妊婦の喫煙率	4.8% (平成30年度)	0.0%	15.6% (令和4年度)	D
妊婦の飲酒率	1.2%	0.0%	0.0% (令和4年度)	A

## (3) 学童期・思春期

「毎日の生活が楽しいと思う中学生」、「歯磨きを1日2回以上している小学生」は令和元年度より増加し「肥満度20%以上の小学生女子」、「たばこを吸いたいと思う中学生」、「お酒を飲みたいと思う中学生」は減少し、改善しています。

一方で、「永久歯にむし歯がある児童」、「肥満度20%以上の小学生男子・中学生男子・中学生女子」は令和元年度より増加し、「毎朝朝食を食べる小学生・中学生」は減少しています。

指標（評価方法）		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和5年度)	評価
毎日の生活が楽しいと思う子	小学生	92.0%	100.0%	92.2%	C
	中学生	90.3%	100.0%	92.0%	B
自分が愛されていると思っていない子	小学生	23.1%	5.0%	※6.5%	—
	中学生	30.8%	5.0%	※4.3%	—
毎朝朝食を食べる子	小学生	90.3%	100.0%	※78.9%	—
	中学生	88.2%	100.0%	※61.5%	—

指標（評価方法）		基準値 （令和元年度）	目標値 （令和6年度）	現状値 （令和5年度）	評価
歯磨きを日2回以上している子	小学生	56.6%	90.0%	58.8%	B
	中学生	62.5%	90.0%	60.9%	D
永久歯にむし歯がある児童（12歳）		29.0%	20.0%	42.1%	D
肥満度20%以上の子（小学生）	男子	8.5%	7.0%	16.3% （令和4年度）	D
	女子	8.5%	5.0%	6.9% （令和4年度）	B
肥満度20%以上の子（中学生）	男子	12.6%	8.0%	14.5% （令和4年度）	D
	女子	12.6%	5.0%	14.1% （令和4年度）	D
たばこを吸いたいと思う子	小学生	4.6%	0.0%	4.5%	C
	中学生	4.6%	0.0%	3.4%	B
お酒を飲みたいと思う子	小学生	30.6%	0.0%	29.9%	C
	中学生	39.1%	0.0%	23.1%	B

※選択肢を変更したため、評価対象外とします。

#### （4） 青年期・壮年期

「定期的に歯科検診を受ける人」は令和元年度より増加し、目標を達成しています。「心の相談ができる窓口を知っている人」、「運動習慣者」、「日頃から意識して体を動かしている人」、「飲酒の適量を知っている人」は増加し、「肥満者（男性）（20～64歳）」、「肥満者（女性）（40～64歳）」、「朝食を欠食する人（青年）」、「喫煙率（男性）」は低下し、改善しています。

一方で、「睡眠で休息がとれている人」、「ストレスとうまく付き合えていると思う人」、「主食・主菜・副菜をバランスよくとっている人」、「COPDの認知度」、「子どもの前でたばこを吸わない人」は減少し、「肥満者（女性）（20歳～39歳）」、「朝食を欠食する人（壮年）」、「喫煙率（女性）」は増加しています。

指標（評価方法）		基準値 （令和元年度）	目標値 （令和6年度）	現状値 （令和5年度）	評価
睡眠で休息がとれている人		36.9%	50.0%	34.1%	D
心の相談ができる窓口を知っている人		38.8%	60.0%	50.8%	B
ストレスとうまく付き合えていると思う人		70.4%	90.0%	61.3%	D
ストレスを感じている人		82.8%	60.0%	83.3%	C
肥満者（20歳～39歳）	男性	30.9%	15.0%	29.3%	B
	女性	7.5%	10.0%	11.8%	D

指標（評価方法）		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和5年度)	評価
肥満者（40歳～64歳）	男性	41.0%	30.0%	38.9%	B
	女性	23.8%	20.0%	21.5%	B
朝食を欠食する人	青年	38.6%	10.0%	30.3%	B
	壮年	12.4%	0.0%	19.9%	D
主食・主菜・副菜を バランスよくとっている人	青年	27.8%	45.0%	24.3%	D
	壮年	37.9%	60.0%	26.8%	D
定期的に歯科検診を受ける人		45.7%	50.0%	53.8%	A
歯磨きを1日2回以上している人		80.7%	90.0%	※77.7%	—
運動習慣者（1日30分以上、週2回、1年以上）		17.8%	30.0%	24.2%	B
日頃から意識して体を動かしている人		60.5%	80.0%	65.9%	B
喫煙率	男性	27.0%	20.0%	23.2%	B
	女性	7.2%	5.0%	8.3%	D
COPDの認知度		19.5%	50.0%	14.3%	D
子どもの前でたばこを吸わない人		77.8%	100.0%	76.5%	D
飲酒の適量を知っている人		26.4%	80.0%	40.7%	B
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒 している人	男性	9.4% 青年壮年	0.0%	※12.3% 青年壮年高年共通	—
	女性	16.0% 青年壮年	0.0%	※10.1% 青年壮年高年共通	—

※選択肢を変更したため評価対象外とします。

## (5) 高年期

「定期的に歯科検診を受ける人」は増加し、目標を達成しています。「心の相談ができる窓口を知っている人」、「日頃から体を動かしている人」は増加し、改善しています。

一方で、「困ったときに家族以外で手を貸してくれる人がいる人」、「普段、家族や友人と会話をしている人」、「8020 運動達成者」、「ロコモ（ロコモティブ・シンドローム）の認知度」、「子どもの前でたばこを吸わない人」は減少し、「やせの割合（BMI18.5 未満）」は増加しています。

指標（評価方法）		基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)	現状値 (令和5年度)	評価
心の相談ができる窓口を知っている人		21.0%	35.0%	34.2%	B
困ったときに家族以外で手をかしてくれる人がいる人		64.1%	70.0%	61.3%	D
普段、家族や友人と会話をしている人		84.7%	95.0%	80.8%	D
やせの割合（BMI18.5 未満）		4.8%	5.0%	6.3%	D
8020 運動達成者		16.4%	20.0%	13.5%	D
定期的に歯科検診を受ける人		49.6%	50.0%	50.8%	A
ロコモ（ロコモティブ・シンドローム）の認知度		11.3%	40.0%	9.2%	D
日頃から体を動かしている人		78.2%	100.0%	80.4%	B
喫煙率【再掲】[青年・壮年期と同様]	男性	27.0%	20.0%	23.2%	B
	女性	7.2%	5.0%	8.3%	D
子どもの前でたばこを吸わない人		83.9%	100.0%	57.9%	D
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人（再掲）	男性	5.6% 高年	0.0%	※12.3% 青年壮年高年共通	—
	女性	6.7% 高年	0.0%	※10.1% 青年壮年高年共通	—

## 4 各分野の課題

本計画の最終評価にあたり、アンケート結果や統計等から、各重点分野に課題があることが確認されました。これまでの健康づくりの取組の評価から明らかになった課題への取り組みと、病気の発症予防や重症化予防の観点からの健康診査等の受診勧奨を含め重点ポイントとして推進します。

### (1) こころ・休養

#### ストレスとうまく付き合い、人とのつながりをもちましょう

コロナ禍の影響で、人との交流の場が減少しており、南知多町においては「困ったときの家族以外の相談相手がいる人」の割合が減少し、6割程度となっています。また、「ストレスとうまく付き合いあえていると思う人の割合」や「睡眠をとれている人の割合」は前回と比較して減少しています。

自分なりのストレス解消法を持ち、ストレスとうまく付き合いあえるように周知啓発をしていくことが重要です。また、困ったときに誰かに相談できるよう相談窓口の周知のほか、日ごろからの地域や人とのつながりを深めていくことも必要です。

### (2) 食生活

#### 朝食を毎日食べるとともにバランスのよい食生活を実践しましょう

南知多町では、小中学生の肥満度の割合が増加しています。また、死因別死亡の割合をみると、心疾患や脳血管疾患が愛知県と比較して高くなっています。

肥満は生活習慣病を悪化させ、心筋梗塞や脳卒中などの重大な病気へと進む原因ともなります。

そのため、肥満が及ぼす影響について情報提供を行い、予防の取り組みが必要です。

朝食を毎日摂取する人は中学生6割、青年期7割と若い人の朝食欠食率が高い状況です。

朝食摂取や食事バランスの重要性を今後も周知啓発することが必要です。また、健康状態の確認のため各種健康診査の受診勧奨が今後も必要です。

### (3) 歯

#### 乳幼児期からむし歯を予防しましょう

南知多町では、乳幼児期の平均う歯数は減少し、う蝕がない幼児の割合が増加しており、改善傾向がみられますが、愛知県と比較すると平均う歯数は高い状況にあります。

学童期・思春期においても、平均う歯数は減少していますが、愛知県と比較すると高い状況にあり、また永久歯にむし歯がある児童は増加しています。

乳歯のむし歯は、永久歯のむし歯のリスクが高まることや歯並びの乱れ、あごの発達を妨げるといった悪影響があります。乳幼児期は歯口清掃や食習慣などを身につける時期として非常に重要な時期です。

むし歯や正しい歯の手入れの仕方、おやつとの与え方などについての正しい知識の周知等を行い、乳幼児期・学童期・思春期のむし歯予防等の取り組みを行う必要があります。

青年期・壮年期・高年期においては定期的な歯科検診の受診についてさらに働きかけが必要です。

## (4) 運動

### 子どものうちからの運動習慣を身につけましょう

南知多町では、青年期から高年期までの運動習慣者の割合や、日頃から意識して体を動かしている人の割合が増加しています。一方、小中学生では肥満度 20%以上の児童生徒の割合が増加しています。

運動や体づくりを継続して行うことができるよう、運動の楽しさを伝えていくことが今後も必要です。

また、日頃から体を動かすことは高齢者においても非常に重要とされていることから、年代や体力・体調に応じた運動や、体づくりについての知識の普及、からだを動かす機会づくり等を引き続き行っていく必要があります。

健康診査や相談支援等の機会をとらえ、運動の習慣づけへの提案をすることも重要です。

## (5) たばこ・アルコール

### 禁煙、減煙、分煙を意識し、家族の健康を守りましょう 適正飲酒を心がけ健診（検診）を受診しましょう

南知多町の喫煙率は、減少傾向にありますが、愛知県と比較すると、男性、女性ともに高い数値で推移しています。

妊婦の喫煙率は、増加と減少を繰り返し、令和3年では19.2%となっています。知多圏域、愛知県と比較しても喫煙率が非常に高い現状にあります。

たばこは、喫煙者だけでなく、受動喫煙による家族や周囲の人へも健康被害を及ぼします。

肺がんをはじめとしたがんや、心疾患・脳血管疾患などのリスクも高まります。

そのため、喫煙率の低下に向けた環境整備や、健康診査やがん検診の受診勧奨のより一層の推進が必要です。

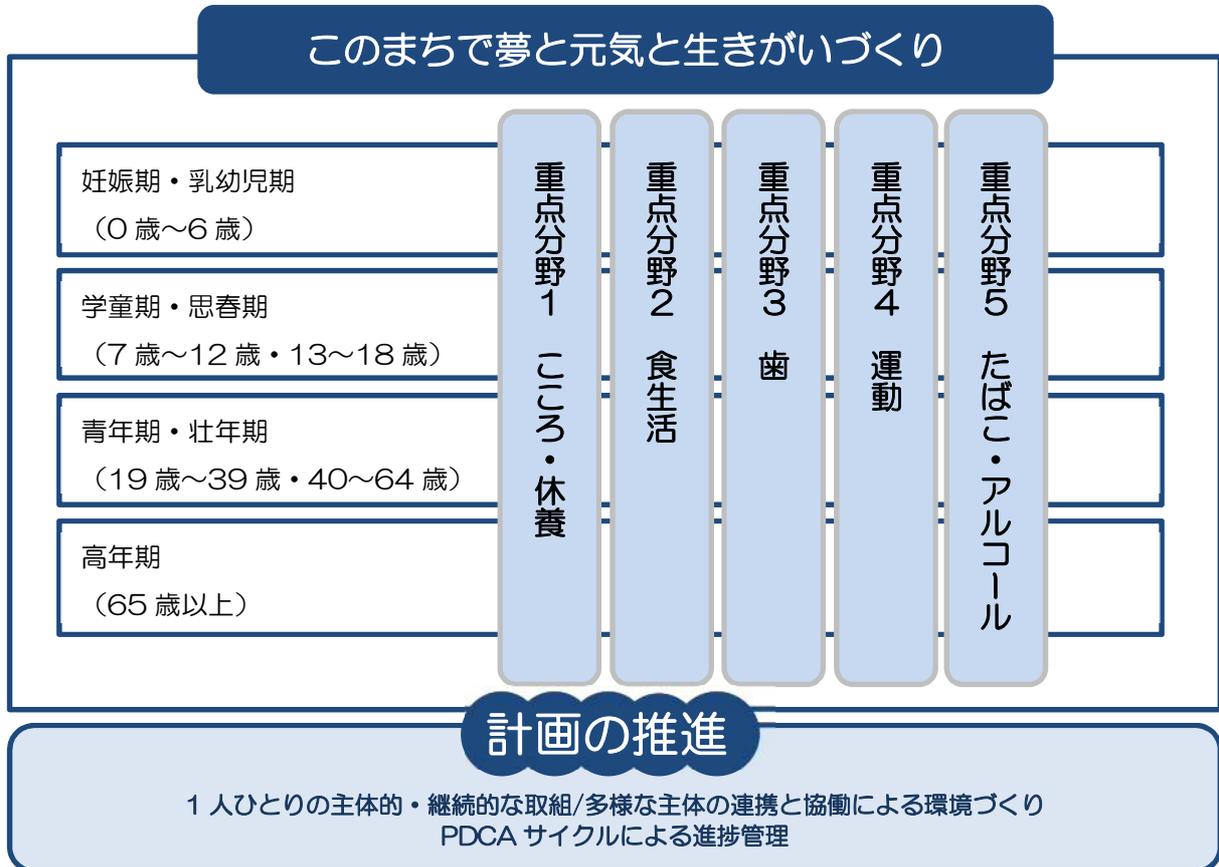
生活習慣病のリスクを高める飲酒をしている人の割合が高いため、適度な飲酒についての啓発が引き続き重要です。

### Ⅲ 健康づくりの推進



#### 健康づくりの推進の考え方

本計画では、「こころ・休養」「食生活」「歯」「運動」「たばこ・アルコール」の5つの重点目標を立て推進していきます。



## 重点分野1 こころ・休養

### 【現状と課題】

- ・ 相談相手のいる親、ゆったりとした気分で子どもと接することができる親の割合は、令和元年度より減少しています。
- ・ 小学生・中学生で毎日の生活が楽しいと思う子の割合は増加しましたが、目標は未達成です。
- ・ 睡眠で休息が取れている人、ストレスへの対処ができている人の割合は減少しています。
- ・ 相談相手がいる、相談窓口を知っている高齢者の割合は増加しましたが、目標は未達成です。

### めざす姿

妊娠期・乳幼児期	子育ては頑張りすぎずに楽しみましょう
学童期・思春期	自分を大切に、家族や地域の人たちを思いやる心を持ちましょう
青年期・壮年期	こころの健康を保ちましょう
高年期	毎日いきいきと生活しましょう 困ったときの相談相手を持ちましょう

### 【取り組み】

- ・ 妊産婦や子育て期の保護者が相談できる体制づくりを進めます。(健康こども課)
- ・ 妊産婦同士や同じ子育ての仲間で話し合える交流の場づくりをします。(健康こども課・教育課)
- ・ 自尊感情や自己肯定感を、教育活動を通じ高めていく取り組みを継続します。(教育課)
- ・ 関係機関の連携により学童期・思春期の子ども心の不調や病気の早期発見に努めます。(健康こども課・教育課)
- ・ 地域での子どもの居場所や行事等を通して交流を深め、声をかけやすい、相談しやすい地域づくりをします。(住民・関係機関)
- ・ 地域や人とのつながりを深め社会全体で健康づくりを支える仕組みづくりを継続します。(健康こども課・ふくし課・住民)
- ・ 高齢者の生きがいづくりや交流の場への支援を行います。(ふくし課・健康こども課・社会福祉協議会)

【数値目標 ころ・休養】

ライフ ステージ	指標（評価方法）	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和18年度)	データ元 目標値の考え方等	
妊娠期・ 乳幼児期	ゆったりとした気分で子どもと接することができる保護者 ★◎	3か月児	89.7%	92.0%	乳幼児健康診査 (令和4年度)
		1歳6か月児	79.6%	85.0%	
		3歳児	76.9%	75.0%	
学童期・ 思春期	毎日の生活が楽しいと思う子	小学生	92.2%	100.0%	学校アンケート
		中学生	92.0%	100.0%	学校アンケート
	自分が愛されていると思っていない子	小学生	6.5%	0%	学校アンケート
		中学生	4.3%	0%	学校アンケート
青年期・ 壮年期	睡眠で休息がとれている人 ☆		34.1%	50.0%	アンケート (青年期・壮年期) 「睡眠は十分」で評価
	心の相談ができる窓口を知っている人		50.8%	60.0%	アンケート
	ストレスとうまく付き合えていると思う人		61.3%	70.0%	アンケート
	ストレスを感じている人		83.3%	60.0%	アンケート
	いずれかの社会活動（就労・就学を含む）を行っている人 ☆		38.7%	増加	アンケート
高年期	心の相談ができる窓口を知っている人		34.2%	40.0%	アンケート
	困ったときに家族以外で手をかしてくれる人がいる人		61.3%	70.0%	アンケート
	普段、家族や友人と会話をしている人		80.8%	85.0%	アンケート
	いずれかの社会活動（就労・就学を含む）を行っている人 ☆		38.8%	増加	アンケート
青年壮年 高年共通	地域等で共食している人の割合 ☆		51.5%	55.0%	アンケート 国目標値は30%

★健やか親子21指標 ☆健康日本21第3次指標 ◎成育医療等基本方針に基づく評価指標 網掛:新規指標

\*成育医療等基本方針は、成育過程にある者等に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進するため、成育医療等の提供に関する施策の基本となる事項等を定めています。

## 重点分野2 食生活

### 【現状と課題】

- ・ おやつを1日3回以上食べる子の割合（3歳児）は、減少し改善していますが、目標値には及ばない状況です。
- ・ 中学生では朝食を週に1～2回食べない子が約25%、3～7日食べない子が10%を超えています。
- ・ 肥満者の割合は青年・壮年男性、壮年女性では改善傾向ですが、目標値には及ばない状況です。
- ・ バランスよく食事をしている人の割合は、青年・壮年ともに減少しています。
- ・ 朝食の欠食割合は壮年で増加しています。
- ・ 高齢者のやせの割合は増加し、悪化しています。

### めざす姿

妊娠期・乳幼児期	家族で何でもおいしく食べましょう
学童期・思春期	朝ごはんの大切さと楽しさを学び、望ましい生活習慣を身につけましょう
青年期・壮年期	年齢に応じたバランスのよい食生活をします
高年期	高年期の健康を保つ食生活について知り、バランスよく食べます

### 【取り組み】

- ・ 乳幼児期健康診査、離乳食教室などを通じて乳幼児期の食生活への支援を行います。（健康こども課）
- ・ 各種健康診査の受診勧奨と、受診結果により食習慣の改善への支援を行います。（健康こども課）
- ・ 乳幼児、児童生徒に栄養バランスのとれた給食を提供します。（健康こども課・教育課）
- ・ 地域の食材を給食で使用したり、イベント食を提供します。（健康こども課・教育課）
- ・ 食文化や食事の大切さ、マナーを家庭に啓発していきます。（健康こども課・教育課・産業振興課）
- ・ 食に関する情報提供、知識の普及啓発を継続して行います。（健康こども課・教育課・産業振興課）
- ・ 食生活に関する不安や困りごとの相談支援を行います。（健康こども課）
- ・ 食に関する体験活動を通じ、地域と連携した食育や地産地消を推進します。（産業振興課・健康こども課・教育課）
- ・ 食品ロスを減らすために食べ残し、飲み残しをしないよう心がけます。食品の期限表示の意味を正しく理解し、おいしく食べることを心がけます。（住民）
- ・ 配食サービスにより見守りが必要な高齢者の安否確認とバランスのよい食事を提供します。（ふくし課）

【数値目標 食生活】

ライフ ステージ	指標（評価方法）		基準値 令和5年度	目標値 令和18年度	データ元 目標値の考え方等
妊娠期・ 乳幼児期	おやつを1日3回以上食べる3歳児		13.8%	減少	乳幼児健康診査 (令和4年度)
	ほぼ毎日朝食を食べる3歳児		90.6%	95.0%	
	BMI18.5未満の20~30歳代女性 ☆◎		16.1%	15.0%	アンケート
学童期・ 思春期	毎日朝食を食べる子 ★◎ 「毎日食べる」「週に1~2 日食べない」の合計に基準 値を変更	小学生	※95.8%	100.0%	学校アンケート ※国指標:朝食を欠食す るこどもの割合が「あ まりしていない」「全 くしていない」の合計 であるため
		中学生	※87.3%	90.0%	
	肥満度20%以上の子 ★☆☆ 肥満度瘦身度= [体重kg-身長別標準体重kg]/ 身長別標準体重kg×100(%)	小学生男子	16.3%	減少	発育と健康状態 体力と運 動能力 実態報告書 (知多地方教育事務協議会) (令和4年度) コロナ禍の影響により評価 が困難であり、具体的な数 値目標とせず減少をめざす
		小学生女子	6.9%	減少	
		中学生男子	14.5%	減少	
中学生女子		14.1%	減少		
青年期・ 壮年期	肥満者(BMI25以上) ☆	男性(20~60歳代)	38.7%	30.0%	アンケート ※国指標:20~60歳代 男女の肥満者の減少
		女性(40~60歳代)	20.5%	15.0%	
	朝食を欠食する人	青年	30.3%	25.0%	アンケート
		壮年	19.9%	15.0%	アンケート
	主食・主菜・副菜をランス よくとっている人★	青年	24.3%	50.0%	アンケート
		壮年	26.8%		アンケート
	BMI18.5未満の20~30歳代女性(再掲) ☆◎		16.1%	15.0%	アンケート
高年期	低栄養傾向の高齢者(BMI20以下) ☆		14.2%	13.0%	アンケート
	よく噛んで食べることができる人 (50歳以上) ☆		72.3%	80.0%	アンケート

★健やか親子21指標 ☆健康日本21第3次指標 ◎成育医療等基本方針に基づく評価指標 網掛新規指標

## 重点分野 3 歯

### 【現状と課題】

- ・ う蝕がない幼児（3歳児）は、増加し改善していますが、目標値には及ばない状況にあります。
- ・ 歯磨きを1日2回以上している小学生・中学生は6割前後で増加傾向がみられず、永久歯にむし歯がある12歳児の割合は増加しています。歯の健康を守る生活習慣の意識づけが引き続き必要です。
- ・ 定期的に歯科検診を受ける人（青年・壮年・高年期）の割合は増加しましたが、生涯にわたり口腔機能を維持するためにさらなる検診の受診勧奨や情報提供が必要です。

### めざす姿

- |          |  |
|----------|--|
| 妊娠期・乳幼児期 | 親子でお口の健康を守りましょう                                  |
| 学童期・思春期  | 歯の大切さを学び、親子で歯の健康づくりに取り組みましょう                     |
| 青年期・壮年期  | 歯の手入れの仕方を理解し、定期的な歯科検診を受け、むし歯と歯周病の予防に<br>取り組みましょう |
| 高年期      | よく噛んでおいしく食事ができるよう80歳で20本の歯の維持をめざしましょう            |

### 【取り組み】

- ・ 妊娠期の歯科検診の受診勧奨や、歯の健康づくりについて、面接やセミナーを通じて啓発します。（健康こども課）
- ・ 乳児期の口腔・嚥下機能の発達を促す離乳食の与え方などについて、離乳食教室や子育て世代のサロン事業で啓発します。（健康こども課）
- ・ 歯質強化のため、フッ化物洗口を実施します。（健康こども課・教育課）
- ・ 乳幼児・児童生徒の集団歯科検診、成人歯科検診を実施します。（健康こども課・教育課・歯科医師会）
- ・ 定期的な歯科検診の受診を勧奨します。（健康こども課）
- ・ 保育所、子育て支援センター、学校、高齢者サロンなどでお口の健康や嚥下機能の維持についての情報提供を行います。（健康こども課）
- ・ 歯周病予防のための歯磨きや、歯間ブラシなどの器具による口腔ケアの方法について教室や広報媒体を通じて周知します。（健康こども課）
- ・ 残存歯が多い高齢者を表彰します。（健康こども課・歯科医師会）

【数値目標 歯】

ライフ ステージ	指標（評価方法）	現状値 （令和5年度）	目標値 （令和18年度）	データ元 目標値の考え方等	
妊娠期・ 乳幼児期	3歳でむし歯のない子 ★◎◇	88.7%	95.0%	3歳児健康診査 （令和4年度）	
学童期・ 思春期	歯磨きを1日2回以上している子	小学生	58.8%	90.0%	学校アンケート
		中学生	60.9%	90.0%	学校アンケート
	12歳でむし歯のない子 ◇	57.9%	84.0%	地域歯科保健業務状況報告書 ※県ベースラインをめざす	
青年期・ 壮年期	年1回以上歯の検診を受けている人 ☆	53.8%	95.0%	アンケート （青年期・壮年期）	
	歯磨きを1日2回以上している人	77.7%	90.0%	アンケート	
高年期	8020運動達成者 ◇	13.5%	75.0%	8020事業	
	年1回以上歯の検診を受けている人 ☆	50.8%	95.0%	アンケート （青年期・壮年期）	
	よく噛んで食べることができる人 （50歳以上）（再掲） ☆	72.3%	80.0%	アンケート	

★健やか親子21指標 ☆健康日本21第3次指標 ◎成育医療等基本方針に基づく評価指標 網掛:新規指標  
◇愛知県歯科口腔保健基本計画

## 重点分野 4 運動

### 【現状と課題】

- ・ 外遊びをしている子の割合（3歳児）は増加し、目標値を達成しました。
- ・ 肥満度 20%以上の小学生男子、中学生は増加しています。
- ・ 青年期・壮年期で運動の習慣がある人の割合（1日 30分以上、週 2回、1年以上）、日頃から意識して体を動かしている人の割合は増加していますが、目標値には及ばない状況です。
- ・ 高年期で日頃から体を動かしている人の割合は増加していますが、目標値には及ばない状況です。

### めざす姿

妊娠期・乳幼児期	外遊びで親子のスキンシップ、ふれあいを図りましょう
学童期・思春期	積極的にからだを動かし、体力づくりをしましょう
青年期・壮年期	日常生活の中で積極的に体を動かしましょう
高年期	日常生活の中で意識して体を動かすとともに、自分に合った運動をしましょう

### 【取り組み】

- ・ 外遊びの大切さを認識できるよう啓発を継続します。（健康こども課）
- ・ 気軽に参加でき、親子がふれあい、ともに遊べるような活動を推進します。（教育課・健康こども課）
- ・ 学校活動の中で運動に親しむ機会を提供します。（教育課）
- ・ 歩きやすい歩道の整備、維持に努めます。（建設課・地域）
- ・ スポーツ大会やスポーツ教室などの開催を通じて運動への取り組みを推進します。（教育課）
- ・ 地域のスポーツ団体の活動支援を通じスポーツを推進します。（教育課）
- ・ サロンや地域の集まりで高齢者の運動の機会を提供します。（ふくし課・健康こども課・地域）
- ・ 骨粗しょう症検査の受診機会を設け、結果により生活習慣指導や受診勧奨を行います。（健康こども課・住民課）

## 【数値目標 運動】

ライフ ステージ	指標（評価方法）	現状値 （令和5年度）	目標値 （令和18年度）	データ元 目標値の考え方等	
妊娠期・ 乳幼児期	外遊びをしている子（3歳児）	95.2%	95.0%	3歳児健康診査 （令和4年度）	
学童期・ 思春期	肥満度 20%以上の子 （再掲） ★◎ 肥満度痩身度＝ [体重kg－身長別標準体重kg]/身長 別標準体重kg×100（%）	小学生男子	16.3%	減少	発育と健康状態 体力と運 動能力 実態報告書 （知多地方教育事務協議会） （令和4年度） コロナ禍の影響により評価 が困難であり、具体的な数 値目標とせず減少をめざす
		小学生女子	6.9%	減少	
		中学生男子	14.5%	減少	
		中学生女子	14.1%	減少	
青年期・ 壮年期	肥満者（BMI25以上） （再掲） ☆	男性 20～60歳代	38.7%	30.0%	アンケート 国：20～60歳代男性、 40～60歳代女性の肥満者 の減少
		女性 40～60歳代	20.5%	15.0%	
	運動習慣者 （1日30分以上、週2回、1年以上）☆	24.2%	30.0%	アンケート （青年期・壮年期）	
	日頃から意識して体を動かしている人	65.9%	80.0%	アンケート （青年期・壮年期）	
	1日の平均歩数が8,000歩以上 の人（20歳～64歳） ☆	男性	24.9%	増加	アンケート
		女性	21.1%	増加	
	1日の平均歩数（20歳～64歳） ☆	5,120歩	8,000歩		
骨粗しょう症検査の受診率 ☆	5.8%	15.0%	健康増進事業報告		
高年期	日頃から意識して体を動かしている人	80.4%	100.0%	アンケート （高年期）	
	足腰に痛みのある高齢者 ☆	31.7%	21.0%	アンケート	
	1日の平均歩数が6,000歩以上 の人（65歳以上） ☆	男性	24.6%	増加	アンケート
		女性	21.6%	増加	
	1日の平均歩数（65歳以上） ☆	4,191歩	6,000歩		

★健やか親子21指標 ☆健康日本21第3次指標 ◎成育医療等基本方針に基づく評価指標 網掛:新規指標

## 重点分野5 たばこ・アルコール

### 【現状と課題】

- ・ 妊婦（妊娠届出時）の喫煙率は増加し、悪化しています。
- ・ たばこを吸いたい、お酒を飲みたいと思う小学生・中学生の割合は減少し、改善していますが、目標とする0%には及ばない状況です。
- ・ 男性の喫煙率は減少していますが、目標には及ばない状況です。女性の喫煙率は増加しています。
- ・ 子どもの前でたばこを吸わない人の割合は青年期・壮年期でやや減少、高年期では25%減少し、悪化しています。
- ・ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合は目標値より多いです。

### めざす姿

妊娠期・乳幼児期	大切な家族のために、喫煙・飲酒のルールを守るようにしましょう
学童期・思春期	喫煙や飲酒が健康に及ぼす害を知り、喫煙や飲酒を絶対にしません
青年期・壮年期	喫煙・飲酒が健康に及ぼす害を知りましょう
高年期	自分や身近な人の健康に喫煙が及ぼす害を知りましょう 休肝日を週に2日設けましょう

### 【取り組み】

- ・ 妊娠中の喫煙及び受動喫煙の影響について、妊娠届出時や、健診、セミナーなどで啓発します。（健康こども課）
- ・ 妊娠中の飲酒が与える影響について啓発します。（健康こども課）
- ・ イベント時などは、地域ぐるみで未成年者の喫煙、飲酒の防止を周知、徹底します。（地域）
- ・ 喫煙が健康に与える害について周知し、禁煙について啓発します。（健康こども課）
- ・ 各種健康診査、がん検診の受診勧奨を行います。
- ・ 健康診査受診時などに適量の飲酒や、アルコールが健康に与える影響について啓発し、生活習慣の改善のための支援を行います。（健康こども課）

## 【数値目標 たばこ・アルコール】

ライフ ステージ	指標（評価方法）		現状値 （令和5年度）	目標値 （令和18年度）	データ元 目標値の考え方等
妊娠期・ 乳幼児期	妊婦の喫煙率（妊娠中） ★☆☆◎		8.2%	0%	3～4か月児健診 （令和4年度）
	妊婦の飲酒率（妊娠中） ★		2.0%	0%	3～4か月児健診 （令和4年度）
学童期・ 思春期	たばこを吸いたいと思う子 ☆	小学生	4.5%	0%	学校アンケート 国指標は飲酒・喫煙割合
		中学生	3.4%	0%	
	お酒を飲みたいと思う子 ☆	小学生	29.9%	0%	
		中学生	23.1%	0%	
青年期・ 壮年期	COPDの認知度		14.3%	増加	アンケート （青年期・壮年期）
	子どもの前でたばこを吸わない人の割合		76.5%	100.0%	アンケート （青年期・壮年期）
	飲酒の適量を知っている人		40.7%	80.0%	アンケート （青年期・壮年期）
青年期・ 壮年期・ 高年期共 通	喫煙率（青年壮年高年共通）	男性	23.2%	20.0%	アンケート （青年・壮年・高年期共通）
		女性	8.3%	5.0%	
	生活習慣病のリスクを高める 量を飲酒している人 ☆	男性	※12.3%	13.0%	アンケート （※青年・壮年・高年期共通） 1日当たり純アルコール摂取量 男性40g以上 女性20g以上
		女性	※10.1%	6.4%	
高年期	子どもの前でたばこを吸わない人		57.9%	100.0%	アンケート（高年期）

★健やか親子21指標 ☆健康日本21第3次指標 ◎成育医療等基本方針に基づく評価指標 網掛新規指標

生活習慣病のリスクを高める量の飲酒

男性40g以上：「毎日×2合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」

女性20g以上：「毎日×1合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」

**COPD**（慢性閉塞性肺疾患）とは肺気腫と慢性気管支炎の総称。肺気腫と慢性気管支炎は、汚れた空気を長年吸い続けた結果、発病する点が共通しています。

## IV 健康づくりに関する行政の取り組み状況

(令和6年度)

### 1 こころ・休養

事業名	事業内容	関係課等
学校保健委員会	小中学生への健康教育	教育課
要保護児童対策事業	要保護児童対策地域協議会実務者会議への参加、要保護・要支援の家庭についての情報の共有、家庭訪問や面談の記録を蓄積し、家庭の状況を把握し、関係機関と連携して、必要な支援の実施	健康こども課 教育課 (適応指導教室)
親子ふれあい広場	保育所入所前の子ども（3歳以下）とその保護者対象子育てに関する情報交換を通じた子育てネットワークづくりの推進と自発的な子育て活動の支援	教育課
ストレスチェック	職員が自分のストレス状況を知るために実施	総務課
産業医面接指導事業	健康診断結果に基づき、脳・心臓疾患のリスクが高い職員、長時間労働で疲労の蓄積が認められる職員に対する産業医による面接指導の実施、健康管理、またメンタル不全に陥っている職員についての面接指導の実施	総務課
ハラスメント防止研修実施事業	部下の能力に応じた業務配分を行うなどの管理職としてのマネジメント能力の向上や部下との信頼関係を築くコミュニケーション能力の向上を図り、実際の職務においてハラスメントを防止することを目的として実施	総務課
職員適性検査実施事業	職員配置先の適材適所を図るため、また職員がメンタル不全に陥ることを未然に防ぐための適性検査の実施	総務課
職員健康診断委託事業	職員の適正配置及び職員の健康状態の推移の把握、潜在する疾病を早期に発見するための健康診断の実施	総務課
各地区サロンへの参加	ボランティアを中心に各地区で開催されているサロンで生活機能低下の該当者の把握、介護予防事業の勧奨、地域包括支援センターの事業紹介等を実施	地域包括支援センター 社会福祉協議会
高齢者総合相談事業	高齢者の総合相談、実態把握等 内容：家庭訪問・面接相談・電話相談等相談業務	地域包括支援センター
権利擁護事務	高齢者の虐待、消費者被害、権利擁護等の相談支援	地域包括支援センター
介護予防ケアマネジメント業務	事業対象者への支援の実施	地域包括支援センター
指定介護予防支援事業	予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるようマネジメントの実施（要介護の予防）	地域包括支援センター
一般介護予防事業「はつらつ教室」	対象者に運動機能、認知機能、口腔機能向上等を目的とした介護予防プログラムの提供	地域包括支援センター
地域包括支援センター業務の周知	相談窓口の紹介とPR	地域包括支援センター
地域のネットワークの強化と活用	高齢者が暮らしやすい地域にするため、医療、保健、介護等の専門家、地域住民と幅広いネットワークで多様な課題を解決。（地域ケア会議、医療・介護・福祉ネットワーク協議会、認知症支援協議体、地域支えあい推進協議体（第2層みなトーク含む）等。）	地域包括支援センター ふくし課 健康こども課 社会福祉協議会
「ミーナ助けあい隊」（生活支援サポーター）養成講座	高齢者の生活の困りごとを「住民同士の助けあい」で解決する応援者となるための講座の実施	地域包括支援センター 社会福祉協議会

事業名	事業内容	関係課等
住民講演会	精神科医を講師に迎え、認知症をテーマに講演会を開催	地域包括支援センター ふくし課 社会福祉協議会
認知症介護家族交流会	認知症の方を介護している家族同士での交流の場を設け、介護者の負担や不安を減らす支援	地域包括支援センター ふくし課 健康こども課 社会福祉協議会
認知症サポーター養成講座	認知症について理解し、認知症の人や家族の応援者となるサポーターの養成	ふくし課 地域包括支援センター 健康こども課 社会福祉協議会
認知症行方不明者捜索訓練	認知症の方が行方不明という想定で捜索や声かけの体験をし、併せてかえるネットへの登録や認知症理解の啓発の実施	地域包括支援センター
精神保健福祉連絡会	保健所、知多南部相談支援センターと連携した、地域の精神保健福祉に関するケース情報の共有化、具体的な支援の検討	ふくし課 健康こども課 地域包括支援センター 社会福祉協議会
こころのお悩み相談室	さまざまな悩みに対する臨床心理士による相談	社会福祉協議会
心配ごと相談	日常生活の心配ごと等の身近な相談及び法律相談を実施	住民課 社会福祉協議会
福祉敬老フェア	「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざしてフェアを開催	ふくし課
スマホ講習会	スマートフォンの基本操作に不安を抱える高齢者向けに講習会を開催	ふくし課
児童発達支援事業どんぐり園	子どもの特性を理解し、基本的な生活習慣の自立を図り、集団生活への適応力を育てる中で、保護者が主体的な子育てができるような支援	健康こども課
要保護児童対策地域協議会代表者会議	関係機関の代表者（南知多町、知多福祉相談センター、警察、保健所、教育委員会、民生委員・児童委員協議会、保育所、子育て支援センター）で構成され、要保護児童等の総合的事項の把握及び支援に関する全体の検討や活動状況についての報告や評価を実施	健康こども課
子ども・子育て会議	子ども、子育てのニーズに即した効果的なサービスの運用等について、子どもや子育て関係者から意見の聴取（町社会福祉協議会、学校、主任児童委員、保護者、子育て支援センター長、指導保育士）	健康こども課
食育講座	食を営む力の基礎を養うため、各保育所（園）で食育についての具体的な情報の提供（食事のマナー、食と身体の関係、食べ物の大切さなど）	健康こども課
親子遊び方教室 いちごの会	親子遊び、体操、絵本読み聞かせ等を通して親子のかかわり方の支援や生活習慣の自立を促す。	健康こども課
特定・後期高齢者健診、ヤング健診	問診時に睡眠で休養が取れているかについて把握し、必要により相談支援を実施	健康こども課
妊娠届出面接 プレママ応援電話 あかちゃん訪問 すこやかサロン パースデー訪問 乳幼児健康診査 こどもすくすく相談・発達相談 産後ケア	妊娠・出産・産後の不安、子育ての不安や、子どもの成長・発達についての疑問、発達障害についての心配などへの相談や助言、必要なサービスを利用できるようにするための支援	健康こども課

事業名	事業内容	関係課等
すこやかオンライン相談	産婦人科医、小児科医、助産師へオンラインで相談ができるサービスを実施	健康こども課
ゲートキーパー養成講座	新規採用職員、民生・児童委員、教職員などを対象にゲートキーパー養成講座を実施（自殺対策事業）	健康こども課
健康なんでも相談	保健師による健康相談	健康こども課
医師健康相談	医師による健康相談（予約制）	健康こども課

## 2 食生活

事業名	事業内容	関係課等
学校健康診断	小中学生の健康診断	教育課
学校保健委員会（再掲）	小中学生への健康教育	教育課
親子ふれあい広場（再掲）	保育所入所前の子ども（3歳以下）とその保護者対象子育てに関する情報交換を通じた子育てネットワークづくりの推進と自発的な子育て活動の支援	教育課
産業医面接指導事業（再掲）	健康診断結果に基づき、脳・心臓疾患のリスクが高い職員、長時間労働で疲労の蓄積が認められる職員に対する産業医による面接指導の実施、健康管理、またメンタル不全に陥っている職員の面接指導の実施	総務課
職員健康診断委託事業	職員の適正配置及び職員の健康状態の推移の把握、潜在する疾病を早期に発見するための健康診断の実施と事後受診、事後指導	総務課
魚食普及交流会	知多地区漁業士会が主催する料理講習会への参加（園児の親を対象に、魚食に関する理解を深めてもらうために実施されている）	愛知県知多農林水産事務所水産課 産業振興課 健康こども課
福祉敬老フェア（再掲）	「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざしてフェアを開催（配食サービス実施業者による配食弁当の紹介）	ふくし課
スマートウォッチを利用した介護予防事業	スマートウォッチを利用した生活改善への取り組みとスマホの使い方教室を開催（保健師による高血圧についての講話を実施）	ふくし課
各地区サロンへの参加（再掲）	サロンで生活機能低下の該当者の把握、介護予防事業の勧奨、地域包括支援センターの事業紹介等を実施	地域包括支援センター
一般介護予防ケアマネジメント業務（再掲）	事業対象者への支援の実施	地域包括支援センター
一般介護予防事業「はつらつ教室」（再掲）	対象者に運動機能、認知機能、口腔機能向上等を目的とした介護予防プログラムの提供	地域包括支援センター
地域包括支援センター業務の周知（再掲）	相談窓口の紹介とPR	地域包括支援センター
「ミーナ助けあい隊」（生活支援サポーター）養成講座（再掲）	高齢者の生活の困りごとを「住民同士の助けあい」で解決する応援者となるための講座	地域包括支援センター 社会福祉協議会
食育講座（再掲）	食を営む力の基礎を養うため、各保育所（園）で食育についての具体的な情報の提供（食物、食事のルール、食と身体の関係、食物への感謝など）	健康こども課
特定・後期高齢者健診、ヤング健診（再掲）	健診受診者に問診により食生活・間食等について把握し、必要により支援を実施	健康こども課
パバママセミナー	管理栄養士による講話	健康こども課

事業名	事業内容	関係課等
3～4か月児健診	管理栄養士による講話	健康こども課
すこやかサロン	管理栄養士による講話	健康こども課
各種がん検診等	胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、ピロリ菌検査	健康こども課
特定健診（集団健診）での骨粗しょう症検査	管理栄養士・保健師による健康相談（40・45・50・55・60・65歳女性）	健康こども課 住民課
学校健康教育	学校と連携した、健康的な生活習慣のための講話の実施	健康こども課
成人健康教育	健康的な生活習慣のための講話を実施	健康こども課
健康なんでも相談（再掲）	保健師による健康相談	健康こども課
医師健康相談（再掲）	医師による健康相談（予約制）	健康こども課
管理栄養士健康相談	管理栄養士による健康相談（予約制）	健康こども課
特定保健指導・結果説明会	保健師・管理栄養士による健診結果の説明、保健指導	健康こども課
糖尿病性腎症重症化予防	保健師・管理栄養士による健診結果の説明、受診勧奨及び生活支援の実施	健康こども課

### 3 歯

事業名	事業内容	関係課等
学校健康診断（歯科健診）	小中学生の歯科健診の実施、「よい歯の子」の表彰の実施	教育課
学校保健委員会（再掲）	小中学生への健康教育	教育課
歯科健診	愛知県市町村職員共済組合による職員等の歯科健診の実施	総務課
歯っぴい教室	年中児を対象とした歯の健康教室	健康こども課
フッ化物洗口	保育所、小中学校でのフッ化物洗口	健康こども課 教育課
福祉敬老フェア（再掲）	「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざしてフェアを開催（式典内で8020歯のコンクール表彰）	ふくし課
スマートウォッチを利用した介護予防事業（再掲）	スマートウォッチを利用した生活改善への取り組みとスマホの使い方教室を開催（保健師による口腔についての講話を実施）	ふくし課
介護予防ケアマネジメント業務（再掲）	事業対象者への支援の実施	地域包括支援センター
一般介護予防事業「はつらつ教室」（再掲）	運動機能、認知機能、口腔機能向上等を目的とした介護予防教室	地域包括支援センター
地域包括支援センター業務の周知（再掲）	口腔観察シートの活用と普及啓発 相談窓口の紹介とPR	地域包括支援センター
1歳6か月児・3歳児健診（歯科健診）	歯科健診、ブラッシング指導、フッ素塗布	健康こども課
2歳児・2歳6か月児フッ素塗布	歯科に関する健康教育、歯科健診、ブラッシング指導、フッ素塗布	健康こども課
妊婦歯科健診	妊娠中の歯科健診	健康こども課
成人歯科健診	歯周病検診、歯科保健指導（40歳・50歳・60歳・70歳・76歳の住民）（令和6年度から20歳・30歳追加）	健康こども課 住民課

事業名	事業内容	関係課等
8020 歯科健診事業、表彰	80 歳の方の歯科健診と 80 歳以上で自分の歯が 20 本以上ある方を表彰	健康こども課
障がい者通所施設歯科健診事業	障がい者通所施設の利用者の歯科健診	健康こども課
パパママセミナー（再掲）	歯科衛生士による講話	健康こども課
すこやかサロン（再掲）	歯科衛生士による講話	健康こども課
学校健康教育（再掲）	学校と連携した、健康的な生活習慣のための講話の実施	健康こども課
成人健康教育（再掲）	健康的な生活習慣のための講話	健康こども課
健康なんでも相談（再掲）	保健師による健康相談	健康こども課
医師健康相談（再掲）	医師による健康相談（予約制）	健康こども課

#### 4 運動

事業名	事業内容	関係課等
学校保健委員会（再掲）	小中学生への健康教育	教育課
エンジョイクラブ（出前講座）	小学生対象、町内 4 地区（豊浜小、みさき小、日間賀小、篠島小）に出向き、ニュースポーツを実施	教育課
各種スポーツ教室	こども体育教室、囲碁ボール教室、夏休み小学生水泳教室、こどもグラウンドキャッチボール、小学生チアダンス教室などの運動教育の実施、身体活動の習慣化	教育課
野球教室	小中学生を対象とし有名講師を招いて開催し、併せて地域のスポーツへの意識の高揚を図る	教育課
バスケットボール教室	小中学生を対象とし有名講師を招いて開催し、併せて地域のスポーツへの意識の高揚を図る	教育課
体力テスト会	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とびなどの項目の測定を通じた、参加者自身の体力の状態の把握	教育課
スポーツ大会の開催	各競技スポーツの普及活動として大会を実施	教育課
総合体育館トレーニング室委託教室	のびのびヨガ教室、体幹トレーニング教室を実施	教育課
町総合体育館無料開放	中学生以下の子どもが対象、毎週土曜日の午前 9 時から午後 5 時まで、総合体育館のメインアリーナ、サブアリーナ、柔剣道場のうち、利用予約が入っていない場合、無料で利用可	教育課
愛知県市町村対抗駅伝（選考会開催、参加）	駅伝参加希望者を広く募り選考会を開催、大会への参加	教育課
産業医面接指導事業（再掲）	健康診断結果に基づき、脳・心臓疾患のリスクが高い職員、長時間労働で疲労の蓄積が認められる職員に産業医の面接指導を実施、メンタル不全に陥っている職員の面接指導を実施	総務課
職員健康診断委託事業（再掲）	職員の適正配置及び職員の健康状態の推移の把握、潜在する疾病を早期に発見するための健康診断の実施と事後指導	総務課
スマートウォッチを利用した介護予防事業（再掲）	スマートウォッチを利用した運動や睡眠の生活改善、健康意識向上の取り組みとスマホの使い方教室	ふくし課

事業名	事業内容	関係課等
福祉敬老フェア（再掲）	「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざしてフェアを開催（名古屋大学の協力による膝伸展筋力などの健康測定会、ステージ発表のグループと一緒に参加者やスタッフが軽い運動を実施）	ふくし課
各地区サロンへの参加（再掲）	ボランティアを中心に各地区で開催されているサロンで生活機能低下の該当者の把握、介護予防事業の勧奨、地域包括支援センターの事業紹介等を実施	地域包括支援センター 社会福祉協議会
介護予防ケアマネジメント業務（再掲）	事業対象者への支援の実施	地域包括支援センター
一般介護予防事業「はつらつ教室」（再掲）	運動機能、認知機能、口腔機能向上等を目的とした介護予防プログラム	地域包括支援センター
地域包括支援センター業務の周知（再掲）	相談窓口の紹介とPR	地域包括支援センター
「ミーナ助けあい隊」（生活支援サポーター）養成講座（再掲）	高齢者の生活の困りごとを「住民同士の助けあい」で解決する応援者となるための講座	地域包括支援センター 社会福祉協議会
百歳体操技術支援・活動支援、普及啓発	筋力アップを目的とした自主グループによる重りを使った体操の実施。新規のグループには立ち上げ支援を実施。理学療法士や、介護予防リーダー、健康づくりリーダーによる運動指導、体力測定を実施	地域包括支援センター 健康こども課
特定・後期高齢者健診、ヤング健診（再掲）	問診時に運動習慣の把握、運動への取り組みの意識付けを実施	健康こども課
各種がん検診等（再掲）	胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、ピロリ菌検査（がん予防のための運動習慣の啓発）	健康こども課
がん検診推進事業	対象年齢に無料クーポン送付（子宮頸がん、乳がん、大腸がん）（がん予防のための運動を取り入れた生活習慣の啓発）	健康こども課
学校健康教育（再掲）	学校と連携した、健康的な生活習慣のための講話の実施	健康こども課
成人健康教育（再掲）	健康的な生活習慣のための講話を実施	健康こども課
健康なんでも相談（再掲）	保健師による健康相談	健康こども課
医師健康相談（再掲）	医師による健康相談（予約制）	健康こども課
ふれあいクラブ（両島）	60歳以上の高齢者を対象に、理学療法士、体育指導員による体操を実施	健康こども課
特定保健指導・結果説明会（再掲）	保健師・管理栄養士による健診結果の説明、保健指導	健康こども課
糖尿病性腎症重症化予防（再掲）	保健師・管理栄養士による健診結果の説明、受診勧奨及び保健指導の実施	健康こども課
元気アップ教室（介護予防教室）	65歳以上を対象に、生活機能の維持または向上を目的とした、介護予防運動指導員等による筋力アップや姿勢改善ストレッチ等の運動の実施	地域包括支援センター 健康こども課

## 5 たばこ・アルコール

事業名	事業内容	関係課等
薬物乱用防止事業	小中学生への、薬物乱用防止の意識の向上	教育課

事業名	事業内容	関係課等
学校敷地内禁煙	学校敷地内の全面禁煙	教育課
保育所敷地内禁煙	保育所敷地内の全面禁煙	健康こども課
役場庁舎の屋内禁煙	特定屋外喫煙場所設置	総務課
産業医面接指導事業 (再掲)	健康診断結果に基づき、脳・心臓疾患のリスクが高い職員、長時間労働で疲労の蓄積が認められる職員への産業医による面接指導の実施、健康管理、メンタル不全に陥っている職員の面接指導実施	総務課
職員健康診断委託事業(再掲)	職員の適正配置及び職員の健康状態の推移の把握、潜在する疾病を早期に発見するための健康診断の実施	総務課
地域包括支援センター業務の 周知(再掲)	相談窓口の紹介とPR	地域包括支援センター
母子手帳交付時アンケート	父母や同居家族の喫煙習慣の把握、喫煙習慣がある場合は減煙・禁煙について相談対応を実施	健康こども課
3～4か月児・1歳6か月児・ 3歳児健診(問診)	父母や同居家族の喫煙習慣の把握、喫煙習慣がある場合は減煙・分煙・禁煙について相談対応を実施	健康こども課
学校健康教育(再掲)	学校と連携した、健康的な生活習慣のための講話の実施	健康こども課
成人健康教育(再掲)	健康的な生活習慣のための講話を実施	健康こども課
特定・後期高齢者健診、ヤング 健診(再掲)	問診の機会に喫煙、飲酒の習慣の把握をし、禁煙減煙や適正な飲酒の啓発を実施	健康こども課
各種がん検診等(再掲)	胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診、前立腺がん検診、ピロリ菌検査(健康維持のための生活習慣について啓発)	健康こども課
がん検診推進事業(再掲)	対象年齢に無料クーポン送付(子宮頸がん、乳がん、大腸がん) (健康維持のための生活習慣について啓発)	健康こども課
健康なんでも相談(再掲)	保健師による健康相談	健康こども課
医師健康相談(再掲)	医師による健康相談(予約制)	健康こども課
特定保健指導・結果説明会 (再掲)	保健師・管理栄養士による健診の結果説明、保健指導の実施	健康こども課
糖尿病性腎症重症化予防 (再掲)	保健師・管理栄養士による健診結果の説明、受診勧奨及び保健指導の実施	健康こども課

## V その他

### 策定経過

年月日	内 容
令和5年7月26日 ～ 令和5年8月16日	けんこう南知多プラン（第2期）アンケート調査
令和6年9月12日	第1回 南知多町保健センター運営協議会・けんこう南知多プラン推進委員会
令和6年10月23日	けんこう南知多プランワーキンググループ推進員会議
令和6年11月18日	健康関連事業について関係課へ照会（令和6年度の取組）
令和7年1月6日 ～ 令和7年1月17日	パブリックコメント募集期間
令和7年1月30日	第2回 南知多町保健センター運営協議会・けんこう南知多プラン推進委員会

けんこう南知多プラン（第3期）

令和7年 月

南知多町 健康こども課

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18番地

電話：0569-65-0711 ファックス：0569-65-0694